
**関市 こども・若者の意識と生活に関する
アンケート調査
【結果報告書】**

令和6年8月

関 市

目 次

I. 調査の概要.....	1
1. 調査の目的.....	2
2. 調査概要.....	2
3. 報告書の見方.....	2
II. 調査結果.....	3
1. 回答者について.....	4
2. 普段の生活について.....	6
3. 自分自身について.....	14
4. 将来のことや働くことについて.....	20
5. こどもの権利について.....	23
6. 地域とのかかわりや市の取組について.....	26

I . 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、関市の中学校2年生、関市の高等学校に通う2年生の方（令和6年7月1日時点）を対象に、日頃、自分の住むまち「関市」やそこで暮らす自分の普段の生活についての考え等をお聞きするために実施しました。なお、市外に住む高校生も対象としています。

2. 調査概要

- 調査地域：関市全域
- 調査対象：関市の中学校2年生
関市の高等学校に通う2年生（令和6年7月1日時点、市外在住者も含む）
- 調査期間：令和6年6月20日～7月29日
- 調査方法：学校を通じた通知文の配布によるweb回答

調 査 票	調査対象者数 (配布数)	有効回収数	有効回収率
中学校2年生	731	558	76.3%
高等学校2年生	660	497	75.3%
合 計	1,391	1,055	75.8%

3. 報告書の見方

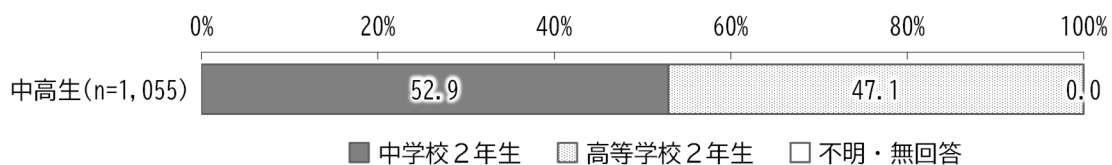
- 本報告書の本文中では、中学校2年生の回答結果を「中2」、高等学校2年生の回答結果を「高2」と表記しています。
- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものです。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100.0%にならない場合があります。このことは、本報告書内の分析文、グラフ、表においても反映しています。
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶ方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が100.0%を超える場合があります。
- 図表中において「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が困難なものです。
- 図表中の「n (number of case)」は、集計対象者総数（あるいは回答者限定設問の限定条件に該当する人）を表しています。
- 本文中の設問の選択肢について、長い文は簡略化している場合があります。
- 表中の網掛けは、「不明・無回答」を除き、**最も割合の高い項目**と**2番目に割合の高い項目**を表しています。なお、回答者(n)が10未満の場合は順位の表記を省略し、読取文の対象外としています。

II. 調查結果

1. 回答者について

問1 あなたの学年を教えてください。〈単数回答〉

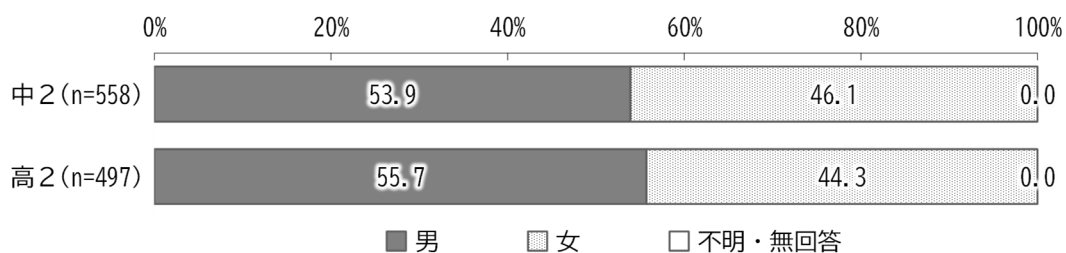
「中学校2年生」(以下、「中2」と表記)が52.9%、「高等学校2年生」(以下、「高2」と表記)が47.1%となっています。



問2 あなたの性別(自認する性別)を教えてください。〈単数回答〉

中2では「男」が53.9%、「女」が46.1%となっています。

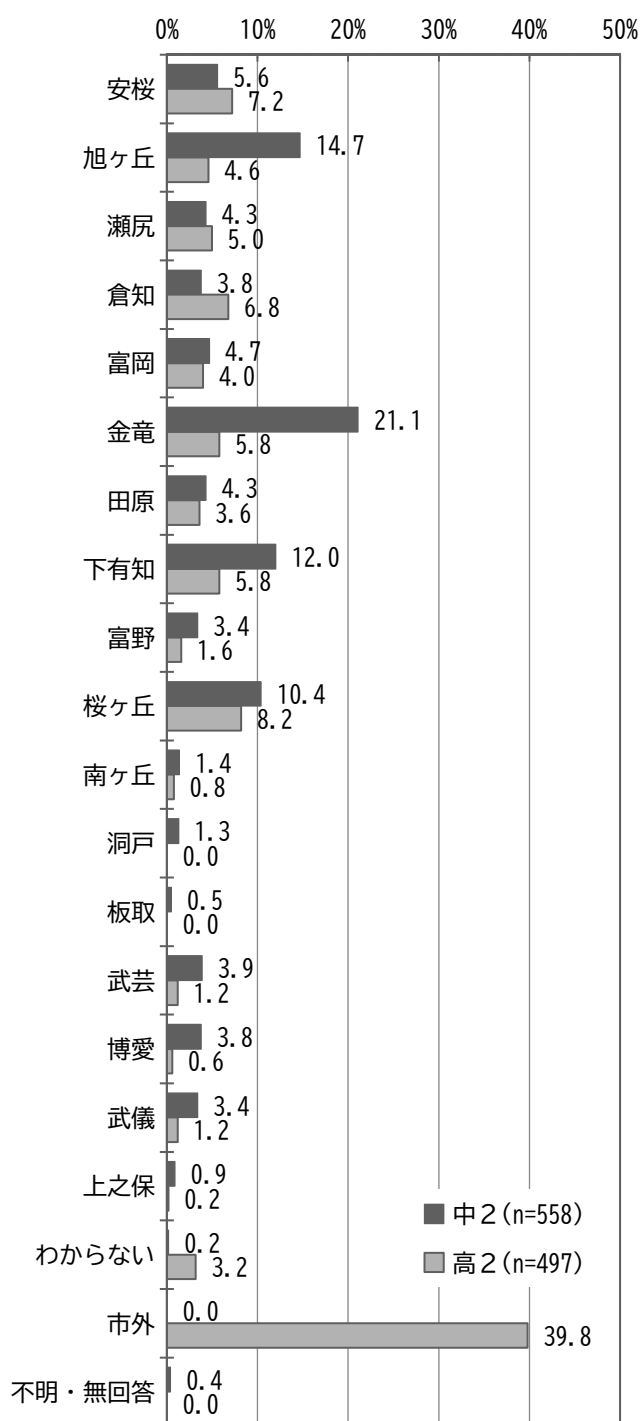
高2では「男」が55.7%、「女」が44.3%となっています。



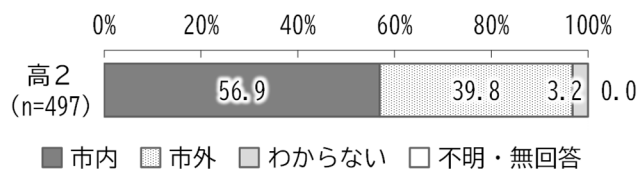
問3 お住まいの小学校区を教えてください。〈単数回答〉

中2では「金竜」が21.1%と最も高く、次いで「旭ヶ丘」が14.7%となっています。

高2は、市内では「桜ヶ丘」が8.2%と最も高く、次いで「安桜」が7.2%となっています。なお、市内外別では「市内」が56.9%、「市外」からの通学者が39.8%となっています。



■市内外別割合

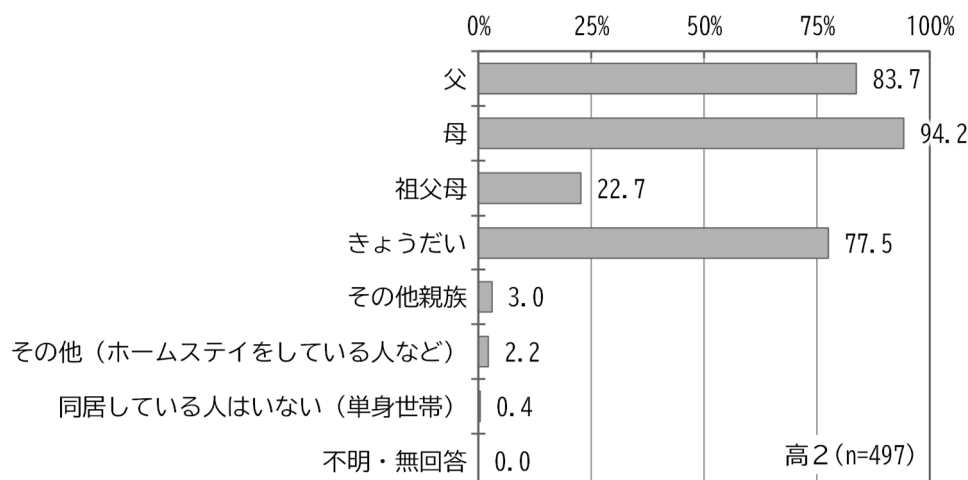


※以降、関市在住の高校生を「市内在住高2」、市外から関市に通学している高校生を「市外在住高2」と表記し、集計しています。

問1で「2 高等学校2年生」と答えた人

問4 一緒に暮らしているのはどなたですか。〈複数回答〉

「母」が94.2%と最も高く、次いで「父」が83.7%となっています。

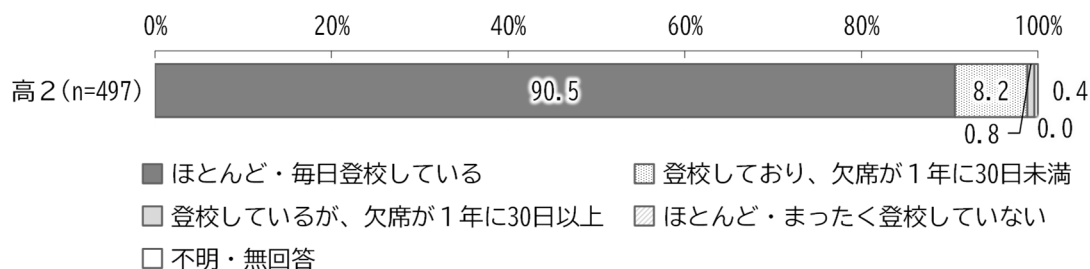


2. 普段の生活について

問1で「2 高等学校2年生」と答えた人

問5 学校への登校状況は次のどれにあてはまりますか。〈単数回答〉

高2では「ほとんど・毎日登校している」が90.5%と最も高く、次いで「登校しており、欠席が1年に30日未満」が8.2%となっています。なお、「ほとんど・まったく登校していない」は0%となっているものの、「登校しているが、欠席が1年に30日以上」が0.8%となっています。



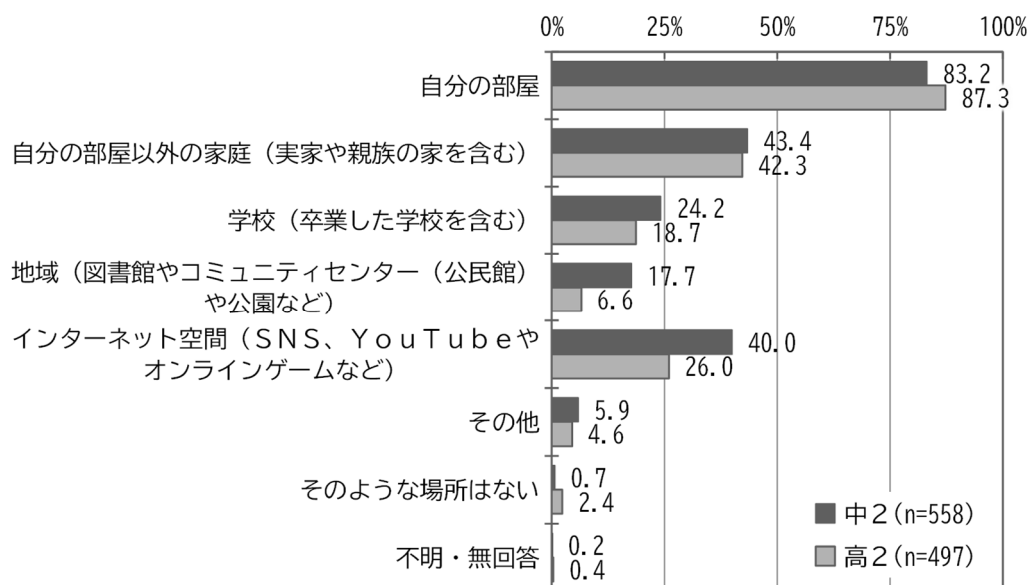
問5で「3 登校しているが、欠席が1年に30日以上」または「4 ほとんど・まったく登校していない」と答えた高2

問6 平日の日中に最も多くの時間を過ごしている教室以外の場所はどこですか。〈複数回答〉

「登校しているが、欠席が1年に30日以上」と回答した4人の高2のうち、「自宅」が4件、「学校 (保健室や図書館などの教室以外の場所)」が1件となっています。

問7 今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地の良い場所など)になっている場所はどこですか。〈複数回答〉

中2・高2ともに「自分の部屋」が最も高く、それぞれ83.2%、87.3%、次いで「自分の部屋以外の家庭(実家や親族の家を含む)」がそれぞれ43.4%、42.3%となっています。なお、中2で「インターネット空間(SNS、YouTubeやオンラインゲームなど)」「地域(図書館やコミュニティセンター(公民館)や公園など)」が高2と比べてそれぞれ10ポイント以上高くなっています。



問8 あなたは居場所としてどのような場所があると良いと思いますか。〈自由記述〉

※「 」内は主なキーワード

(単位: 件)

あると良いと思う居場所	中高生		
	中高生	中2	高2
件数合計	594	351	243
「リラックスできる」「落ち着ける」「静かな」場所・空間 例) リラックスできる場所/落ち着く場所/静かな場所/くつろげる場所/自分にとって居心地の良い場所 等	159	99	60
「1人」になれる、リラックスできる場所・空間 例) 1人でゆっくり休める場所/1人で落ち着ける場所/個室/人が居ない場所 静かな場所/自分だけの空間 等	71	33	38
「自宅」(リビング、風呂等含む)、「家族」 例) 自分の家/リビング/風呂/家族/家族のいる場所 等	63	35	28
「自分の部屋」	28	15	13
「友達」の家、一緒に過ごせる空間 例) 友達/友達の家 等	28	11	17
「飲食店」「専門店」「カラオケ」「商業施設」等 例) カフェ/ご飯を食べたり、遊んだりできる場所/漫画喫茶・ネットカフェ/ショッピングモール/カラオケ 等	15	11	4
「みんな」と楽しめる、話ができる、リラックスできる場所・空間 例) みんなとふれ合える場/みんなが楽しく交流し合えるような場所 等	13	12	1

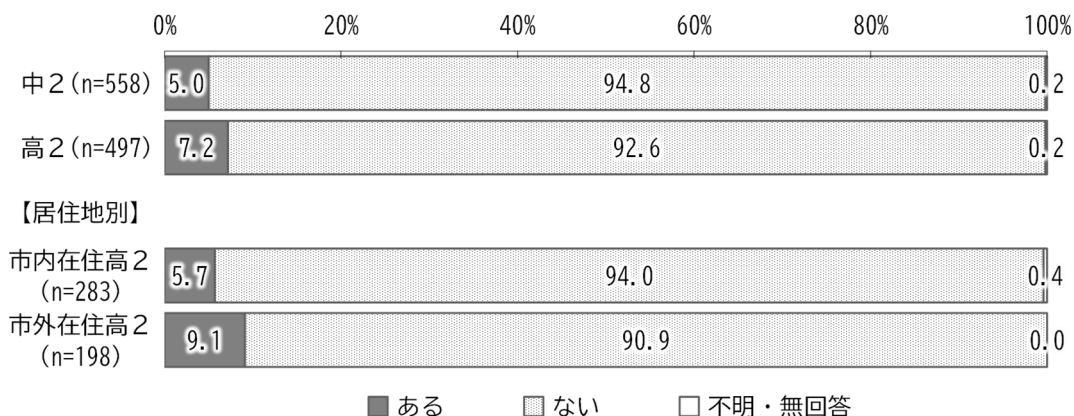
あると良いと思う居場所	中高生		
		中2	高2
「寝る・寝れる」場所・空間、「ベッド」 例) 寝る所／寝れる場所／ベッド 等	12	8	4
「ゲーム」「インターネット」ができる場所・空間 例) ゲームができる場所(オンライン)／インターネットがあるところ 等	11	10	1
「自宅や学校」	11	10	1
「自由」に過ごせる場所 例) 自由に過ごせる場所／自分のやりたいことができる 等	11	6	5
「自分の好きなこと・物」「趣味」がある場所・空間 例) 自分の好きなものがある場所／似た趣味を持つ人が集まれる場所 等	11	6	5
「同じ悩み・気持ち・考え」を持つ人が集い、「話せる」場所・空間 例) 同じ気持ちの人が集まる場所／話を聞いてくれる人がいる環境／人と話ができる場所 等	10	5	5
「公園」 例) 広い公園／気軽に遊べる近所の公園 等	9	6	3
「スポーツ」ができる場所・空間 例) スポーツが自由にできる場所／バスケットができる場所／筋トレができる場所 等	9	7	2
「勉強ができる」場所・空間 例) 自習スペースカフェ／静かに勉強できる場所／おしゃべりしながら勉強ができるような場所／勉強を純粋に楽しむ人が集まる場所 等	8	2	6
「自然」 例) 自然とふれ合うことができる場所／自然と融合した、くつろげたり作業に集中できる空間／クヌギとコナラが豊富な昆虫採取が可能な雑木林／広大な大地 等	8	5	3
「楽しい」場所 例) 楽しいと思える場所／楽しい場所 等	7	5	2
「公共施設」「図書館」 例) 広くて、誰もいなくて静かで、鳥の鳴き声や木の声、本をめくる音だけが響く図書館／静かで空調のきいた図書館／公共の場 等	7	4	3
「涼しい」「エアコンがある」場所・空間 例) 涼しい部屋／涼しい所でパソコンで遊べるところ／涼しいクーラーのある所 等	6	4	2
「学校」「教室」	5	1	4
「相談できる」場所 例) 親身になって相談にのってくれる誰かと話ができる場所／相談できる場所 等	5	5	0
「祖父母の家」	4	0	4
その他（複合回答含む） 例) 1人または友達と一緒にいられる場所／虐待のない平和な家庭／愚痴が言い合える場所、景色がいい場所／自分の家や地域／自分の部屋、インターネット空間／大人数と交流できる場／賑やかな場所／遊べる場所／学校以外の施設／人通りはあるものの静かな所／やりたいことがたくさんできるところ／犬がいっぱいいい／多様さが認められる場所 等	83	51	32

※「特になし」「わからない」「知らない」等（合計 20 件）は除外し、分類・集計しています。

問9 家族の世話やお手伝いなどをすることによって、自分の勉強ややりたいことができずに困っていることはありますか。〈単数回答〉

中2では「ある」が5.0%、「ない」が94.8%となっています。

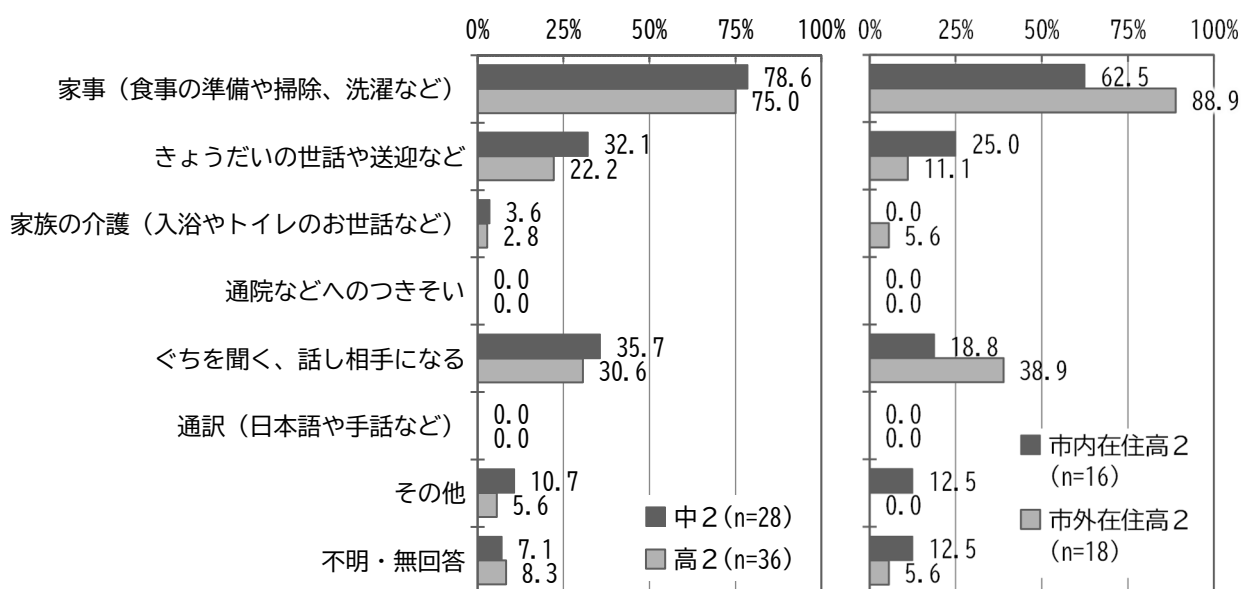
高2では「ある」が7.2%、「ない」が92.6%となっています。居住地別にみると、「ある」が市内在住高2で5.7%、市外在住高2で9.1%となっています。



問9で「1 ある」と答えた人

問10 あなたと一緒に暮らしている大人の代わりに行っているお世話は、どのようなものですか。〈複数回答〉

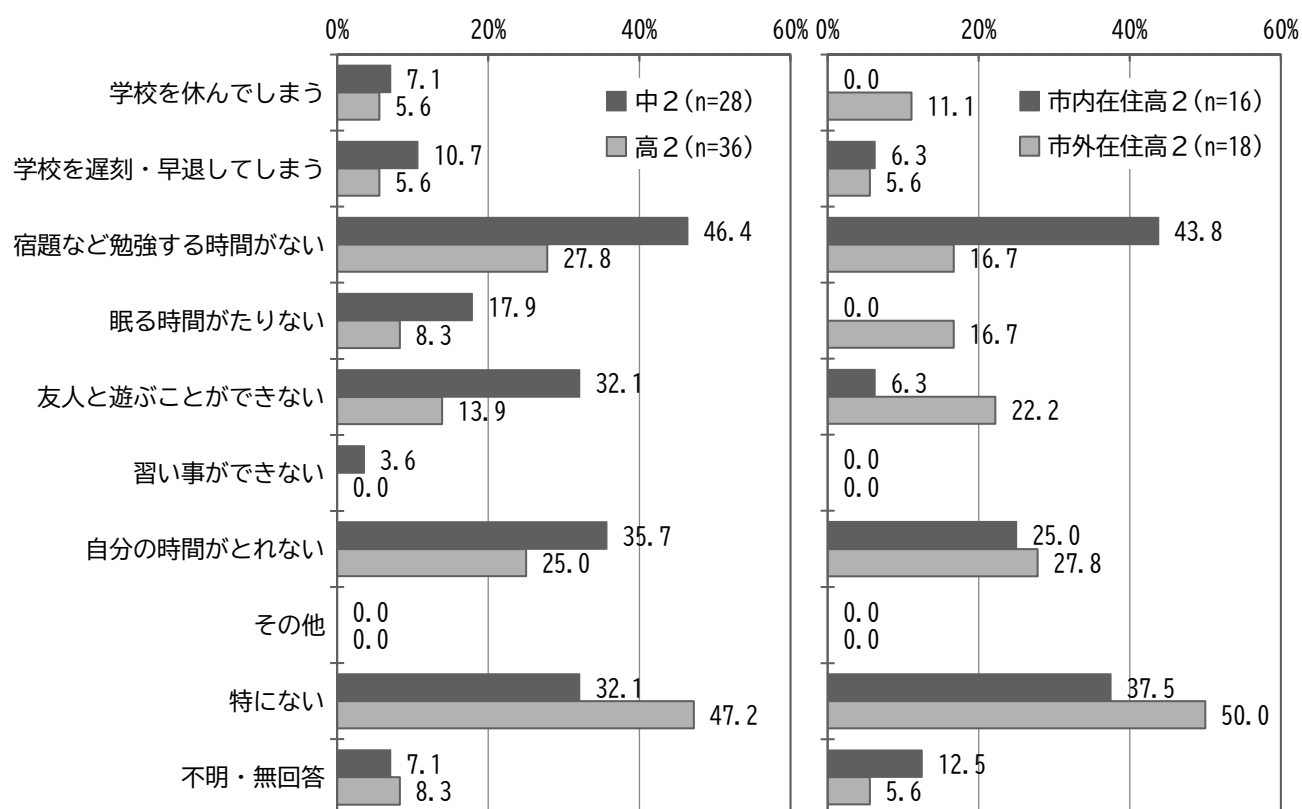
中2・高2ともに「家事（食事の準備や掃除、洗濯など）」が最も高く、それぞれ78.6%、75.0%、次いで「ぐちを聞く、話し相手になる」がそれぞれ35.7%、30.6%となっています。居住地別にみると、市内在住高2で「家事（食事の準備や掃除、洗濯など）」が62.5%と最も高く、次いで「きょうだいの世話や送迎など」が25.0%となっています。



問 11 家族のお世話をしていることで、以下のような経験をしたことがありますか。〈複数回答〉

中2では「宿題など勉強する時間がない」が46.4%と最も高く、次いで「自分の時間がとれない」が35.7%となっています。

高2では「特にない」が47.2%と最も高く、次いで「宿題など勉強する時間がない」が27.8%となっています。居住地別でみると、市内在住高2で「宿題など勉強する時間がない」が43.8%と最も高く、市外在住高2と比べても27.1ポイント高くなっています。



○問 11 学業等に支障が出ている状況×問 10 世話の内容(中高生)

中高生全体では「家事（食事の準備や掃除、洗濯など）」が 76.6%と最も高く、次いで「ぐちを聞く、話し相手になる」が 32.8%となっています。学業等に支障が出ている状況別でみると、「宿題など勉強する時間がない」「自分の時間がとれない」「友人と遊ぶことができない」で「家事（食事の準備や掃除、洗濯など）」「ぐちを聞く、話し相手になる」「きょうだいの世話や送迎など」が上位となっています。

■学業等に支障が出ている状況別(問 11×問 10)

上段：n 下段：%	合計	家事（食事の準備や掃除、洗濯など）	きょうだいの世話や送迎など	家族の介護（入浴やトイレのお世話など）	通院などへのつきそい	ぐちを聞く、話し相手になる	通訳（日本語や手話など）	その他	不明・無回答
全体	64 100.0	49 76.6	17 26.6	2 3.1	0 -	21 32.8	0 -	5 7.8	5 7.8
学校を休んでしまう	4 100.0	4 100.0	1 25.0	0 -	0 -	4 100.0	0 -	0 -	0 -
学校を遅刻・早退してしまう	5 100.0	5 100.0	3 60.0	0 -	0 -	3 60.0	0 -	0 -	0 -
宿題など勉強する時間がない	23 100.0	21 91.3	9 39.1	1 4.3	0 -	9 39.1	0 -	2 8.7	0 -
眠る時間がたりない	8 100.0	8 100.0	3 37.5	0 -	0 -	4 50.0	0 -	0 -	0 -
友人と遊ぶことができない	14 100.0	12 85.7	6 42.9	1 7.1	0 -	6 42.9	0 -	0 -	0 -
習い事ができない	1 100.0	1 100.0	1 100.0	0 -	0 -	0 0.0	0 -	0 -	0 -
自分の時間がとれない	19 100.0	15 78.9	6 31.6	1 5.3	0 -	7 36.8	0 -	1 5.3	0 -
その他	-	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -	0 -
特にない	26 100.0	21 80.8	5 19.2	1 3.8	0 -	9 34.6	0 -	3 11.5	0 -

※「不明・無回答」を除き、回答の高い項目第1位と第2位に網かけをしています。

○家族の世話をしていることで、私生活や学業等に支障が出ている生徒

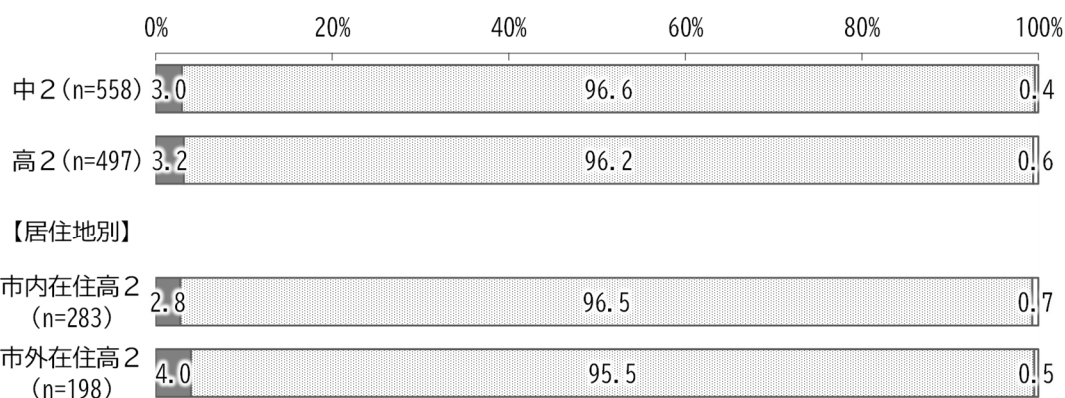
本設問は以下より算出しています。

問9) 家族の世話や手伝いなどにより、自分の勉強ややりたいことができずに困っていることが「ある」生徒が

問 11) 家族の世話をしていることで、「学校を休んでしまう」等の支障が出ている生徒。「特にない」は「支障なし」に分類。

中2では「私生活や学業等に支障が出ている生徒」が 3.0%、「私生活や学業等に支障はない」が 96.6%となっています。

高2では「私生活や学業等に支障が出ている生徒」が 3.2%、「私生活や学業等に支障はない」が 96.2%となっています。居住地別でみると、「私生活や学業等に支障が出ている生徒」は市内在住高2で 2.8%、市外在住高2で 4.0%となっています。



■ 私生活や学業等に支障が出ている生徒 □ 私生活や学業等に支障はない □ 不明・無回答

問 12 あなたは今までに、人との関係性や、病気・ケガ、勉強、その他さまざまな面で、社会生活や日常生活をスムーズに過ごすことができなかった経験がありましたか。または、現在そのような状況がありますか。最もあてはまるものを選んでください。〈単数回答〉

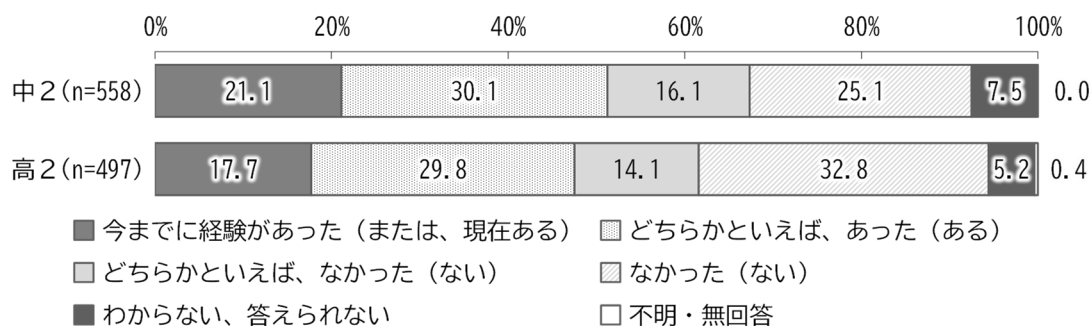
本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『経験がある』 …「今までに経験があった(または、現在ある)」と「どちらかといえば、あった(ある)」の合算

『経験はない』 …「どちらかといえば、なかった(ない)」と「なかった(ない)」の合算

中2では、『経験がある』が51.2%、『経験はない』が41.2%、「わからない、答えられない」が7.5%となっています。

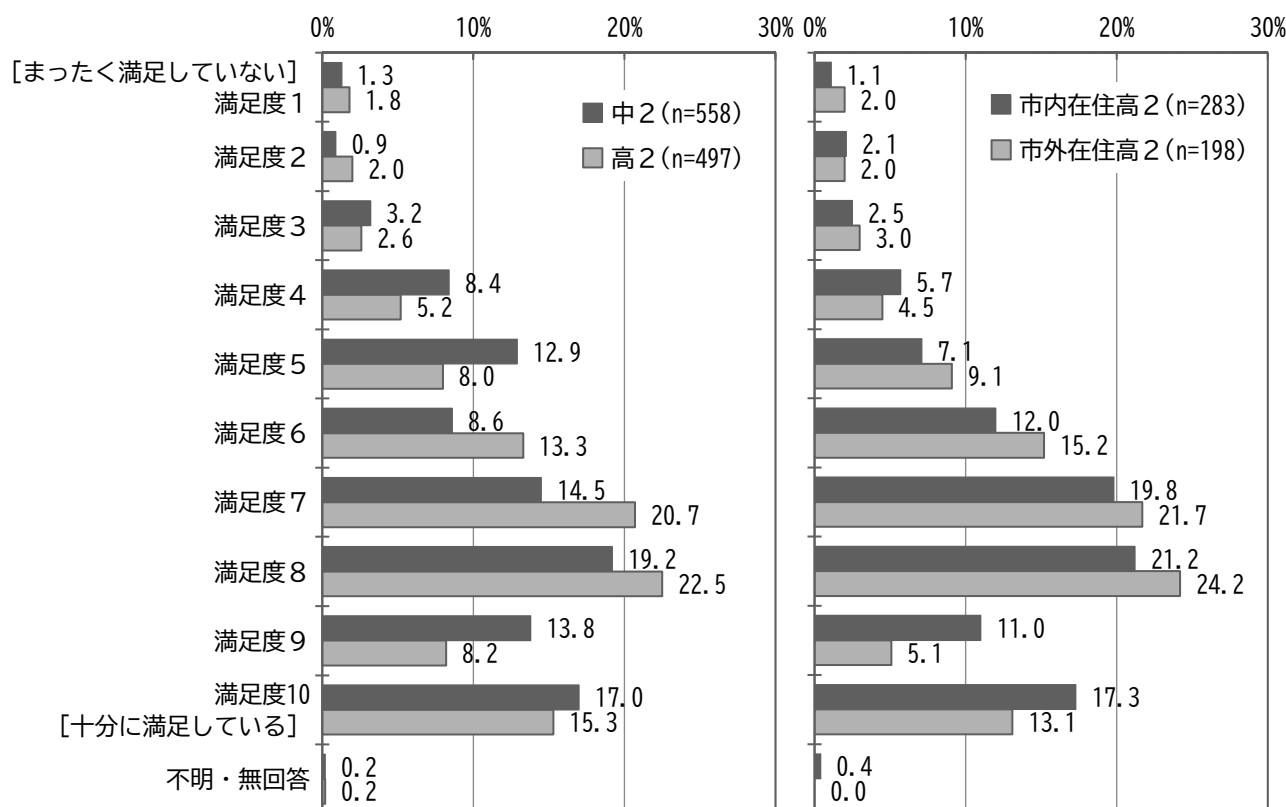
高2では、『経験がある』が47.5%、『経験はない』が46.9%、「わからない、答えられない」が5.2%となっています。



問 13 全体として、あなたは最近の生活に、どのくらい満足していますか。「1」(まったく満足していない)から「10」(十分に満足している)の数字で教えてください。〈単数回答〉

中2では「満足度8」が19.2%と最も高く、次いで「満足度10 [十分に満足している]」が17.0%、平均7.13 となっています。

高2では「満足度8」が22.5%と最も高く、次いで「満足度7」が20.7%、平均7.08 となっています。居住地別でみると、市内在住高2・市外在住高2ともに「満足度8」が最も高く、それぞれ21.2%、24.2%、次いで「満足度7」がそれぞれ19.8%、21.7%となっています。平均は、市内在住高2で7.25、市外在住高2で6.92 と、市内在住高2でやや高くなっています。



■ 満足度の平均値

	中高生	中2	高2	市内在住	市外在住
n	1,055	558	497	283	198
満足度平均値	7.11	7.13	7.08	7.25	6.92

3. 自分自身について

問 14 あなたの思いや気持ちについて、最も近いものに○をつけてください。

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

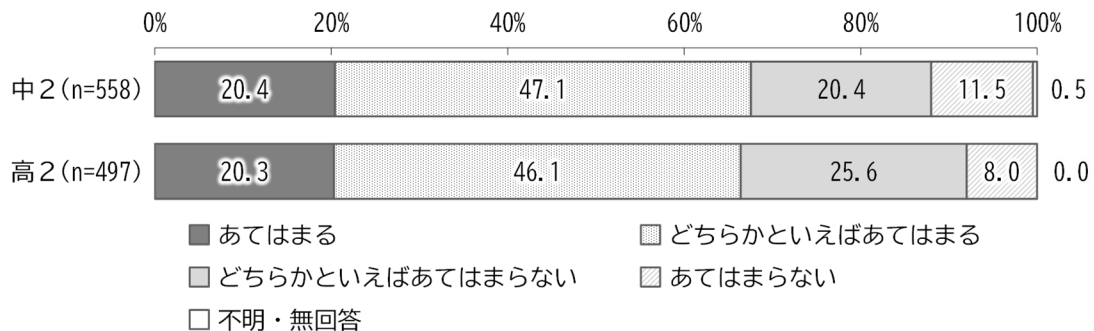
『あてはまる』 …「あてはまる」と「どちらかといえばあてはまる」の合算

『あてはまらない』 …「どちらかといえばあてはまらない」と「あてはまらない」の合算

①今の自分が好きだ<単数回答>

中2では、『あてはまる』が67.5%、『あてはまらない』が31.9%となっています。

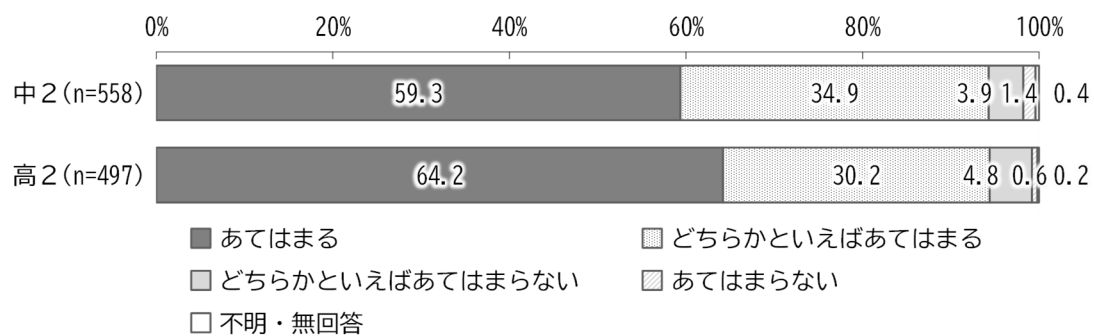
高2では、『あてはまる』が66.4%、『あてはまらない』が33.6%となっています。



②親(保護者)から愛されていると思う<単数回答>

中2では、『あてはまる』が94.2%、『あてはまらない』が5.3%となっています。

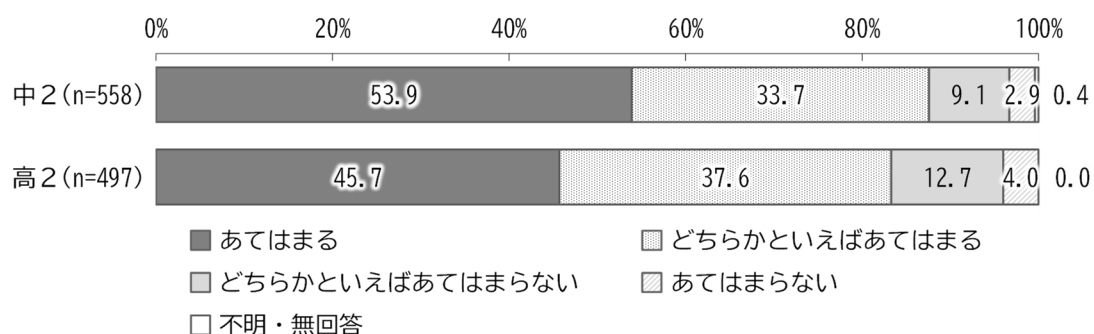
高2では、『あてはまる』が94.4%、『あてはまらない』が5.4%となっています。



③自分には自分らしさというものがあると思う<単数回答>

中2では、『あてはまる』が87.6%、『あてはまらない』が12.0%となっています。

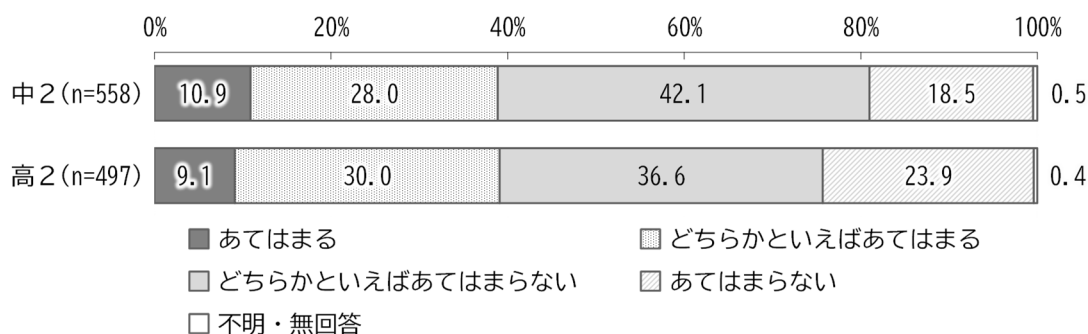
高2では、『あてはまる』が83.3%、『あてはまらない』が16.7%となっています。



④自分は役に立たないと強く感じる<単数回答>

中2では、『あてはまる』が38.9%、『あてはまらない』が60.6%となっています。

高2では、『あてはまる』が39.1%、『あてはまらない』が60.5%となっています。



問 15 あなたは、ふだんの生活の中で多様な人とコミュニケーションをとることができますか。 <単数回答>

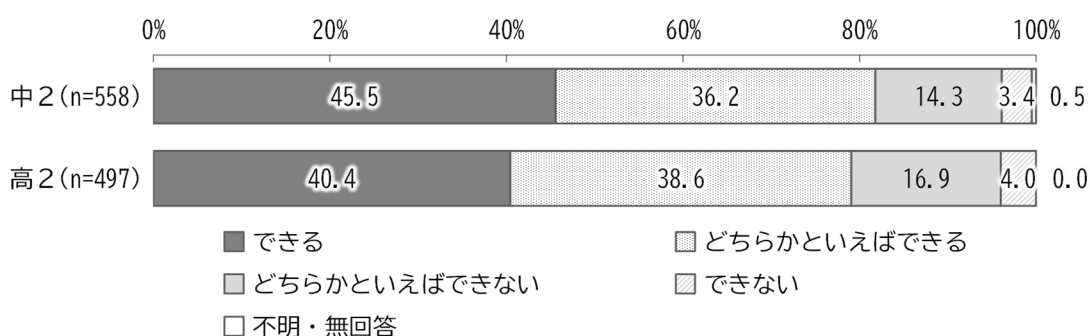
本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『できる』 …「できる」と「どちらかといえばできる」の合算

『できない』 …「どちらかといえばできない」と「できない」の合算

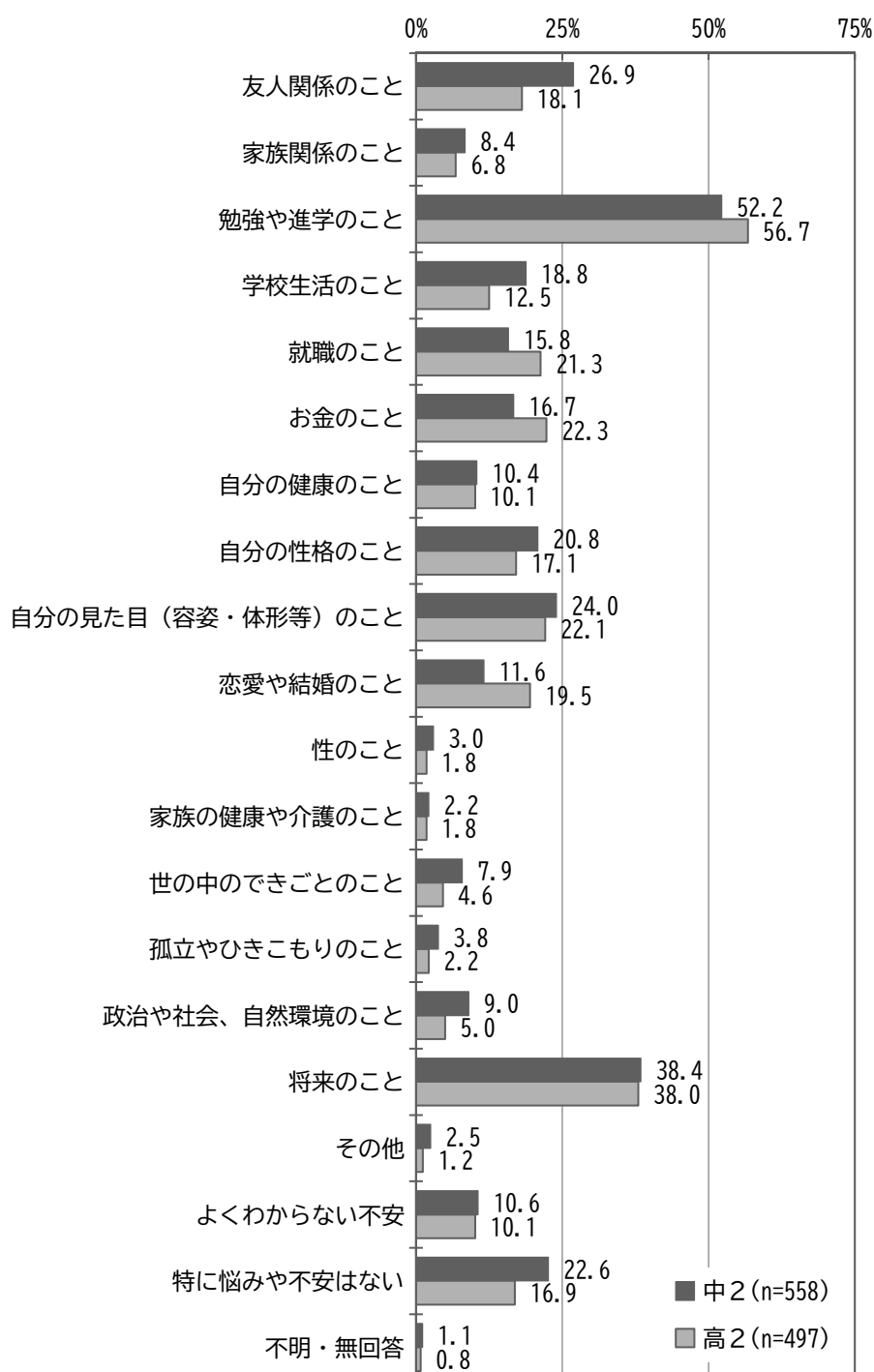
中2では、『できる』が81.7%、『できない』が17.7%となっています。

高2では、『できる』が79.0%、『できない』が20.9%となっています。



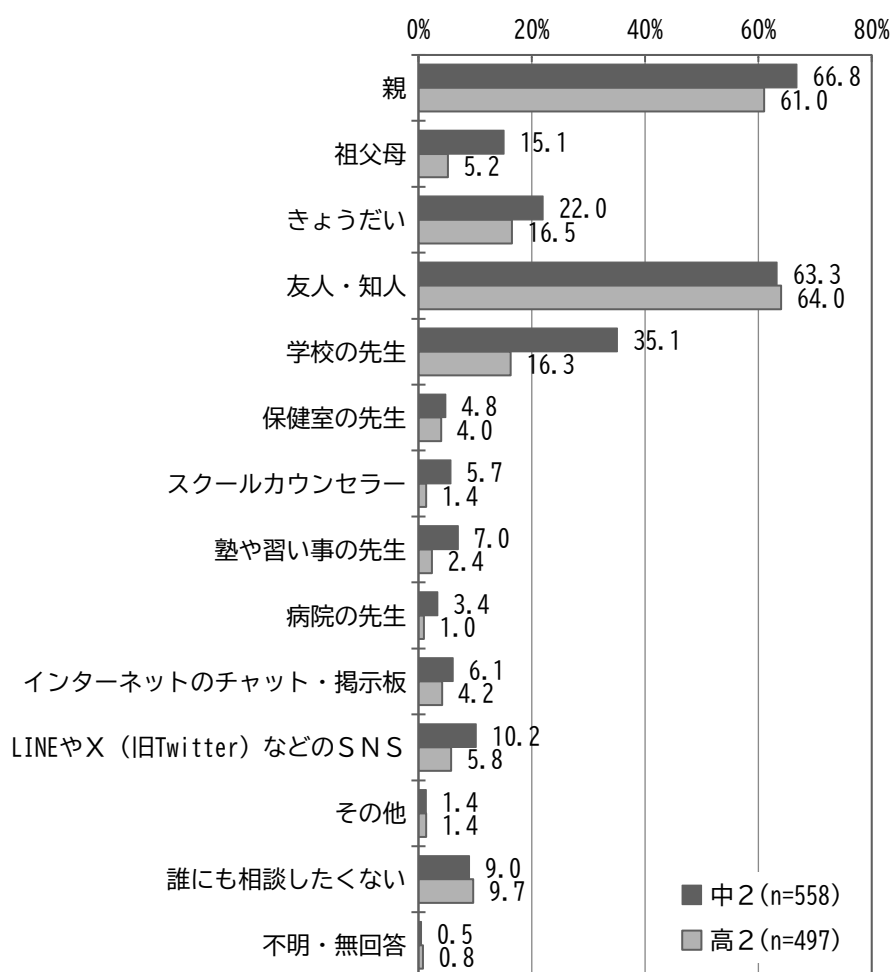
問 16 現在、悩んでいることや不安に感じていることはありますか。また、それはどのようなことですか。〈複数回答〉

中2・高2ともに「勉強や進学のこと」が最も高く、それぞれ52.2%、56.7%、次いで「将来のこと」がそれぞれ38.4%、38.0%となっています。なお、中2で「友人関係のこと」が高2と比べて8.8ポイント、高2で「恋愛や結婚のこと」が中2と比べて7.9ポイント、それぞれ高くなっています。



問 17 悩みや不安を感じたときに、だれ・どこに相談していますか。〈複数回答〉

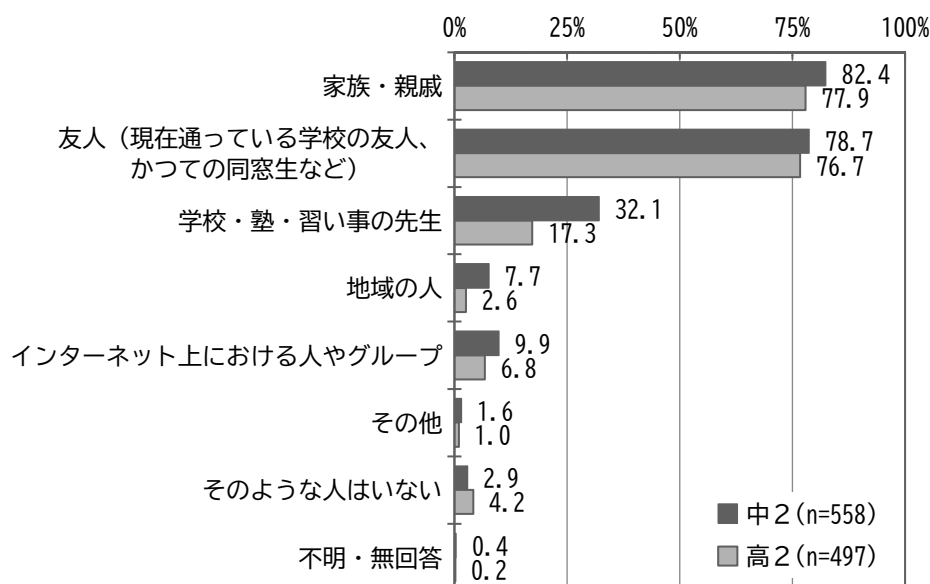
中2では「親」が66.8%と最も高く、次いで「友人・知人」が63.3%となっています。
 高2では「友人・知人」が64.0%と最も高く、次いで「親」が61.0%となっています。
 なお、「誰にも相談したくない」は中2が9.0%、高2が9.7%となっています。



問 18 あなたにとって、「困ったときに助けてくれる」人は誰ですか。〈複数回答〉

中2・高2ともに「家族・親戚」が最も高く、それぞれ82.4%、77.9%、次いで「友人（現在通っている学校の友人、かつての同窓生など）」がそれぞれ78.7%、76.7%となっています。

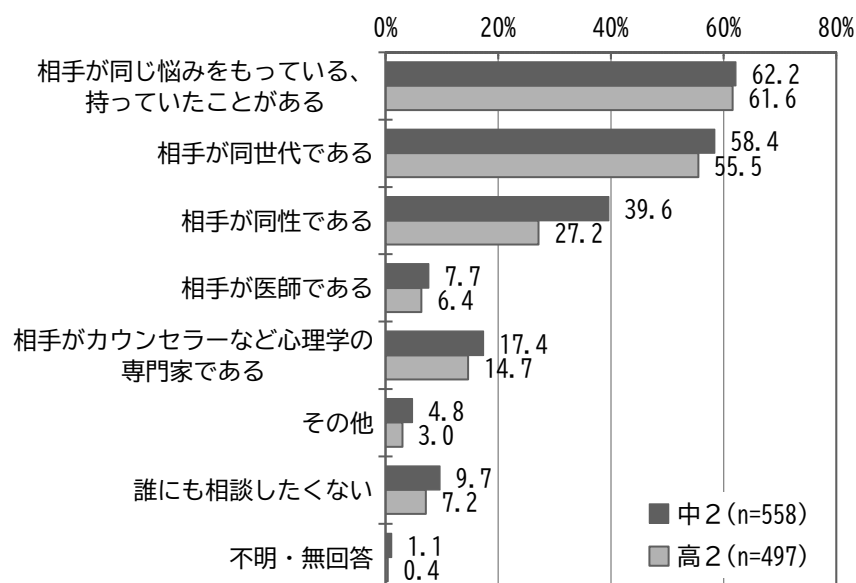
なお、「そのような人はいない」は中2が2.9%、高2が4.2%となっています。



問 19 悩みや不安を感じたときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような人なら相談したいと思いますか。〈複数回答〉

中2で・高2ともに「相手が同じ悩みをもっている、持っていたことがある」が最も高く、それぞれ62.2%、61.6%、次いで「相手と同世代である」がそれぞれ58.4%、55.5%となっています。

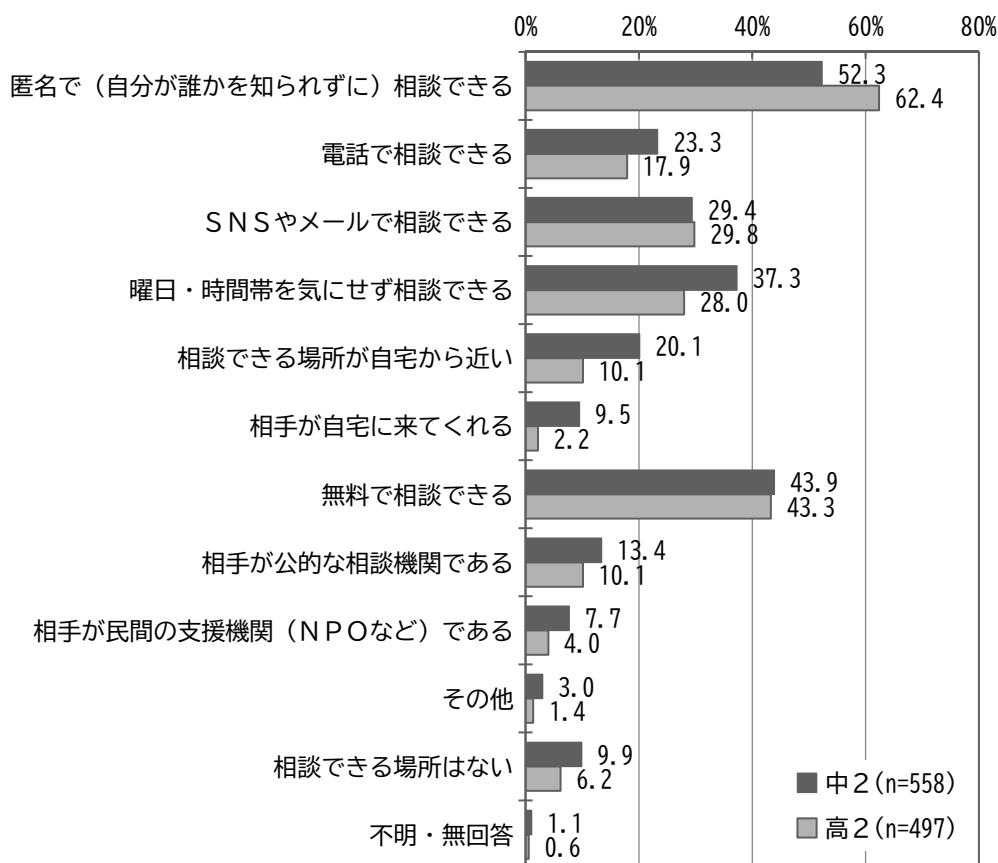
なお、「誰にも相談したくない」は中2が9.7%、高2が7.2%となっています。



問 20 悩みや不安を感じたときに、家族や知り合い以外に相談するとすれば、どのような場所から相談したいと思いますか。〈複数回答〉

中2・高2ともに「匿名で（自分が誰かを知られずに）相談できる」が最も高く、それぞれ 52.3%、62.4%、次いで「無料で相談できる」がそれぞれ 43.9%、43.3%となっています。

なお、「相談できる場所はない」は中2が 9.9%、高2が 6.2%となっています。



4. 将来のことや働くことについて

問 21 あなたは、「社会のために役立つことをしたい」と思いますか。〈単数回答〉

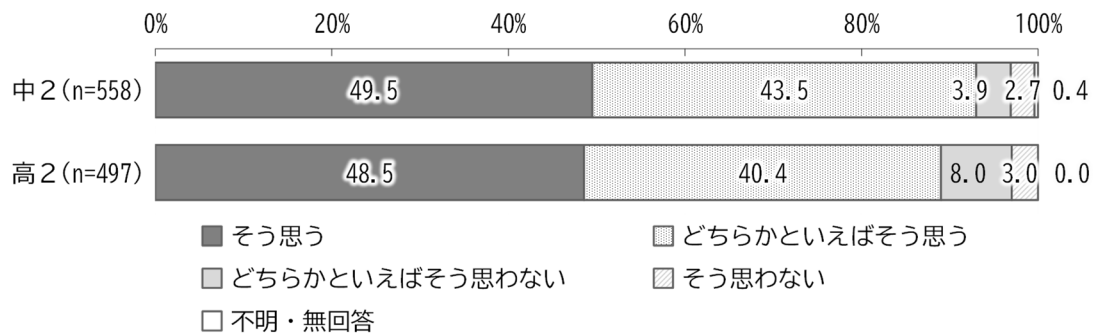
本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『そう思う』 …「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合算

『そう思わない』 …「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」の合算

中2では『そう思う』が93.0%、『そう思わない』が6.6%となっています。

高2では『そう思う』が88.9%、『そう思わない』が11.0%となっています。



問 22 あなたは、日本の将来は明るいと思いますか。〈単数回答〉

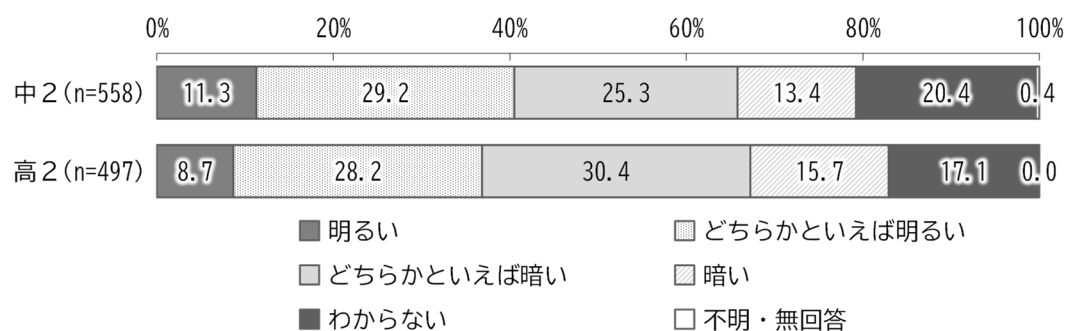
本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『日本の将来は明るい』 …「明るい」と「どちらかといえば明るい」の合算

『日本の将来は暗い』 …「どちらかといえば暗い」と「暗い」の合算

中2では『日本の将来は明るい』が40.5%、『日本の将来は暗い』が38.7%、「わからない」が20.4%となっています。

高2では『日本の将来は明るい』が36.9%、『日本の将来は暗い』が46.1%、「わからない」が17.1%となっています。



問 23 あなたは、自分の将来について明るい希望を持っていますか。〈単数回答〉

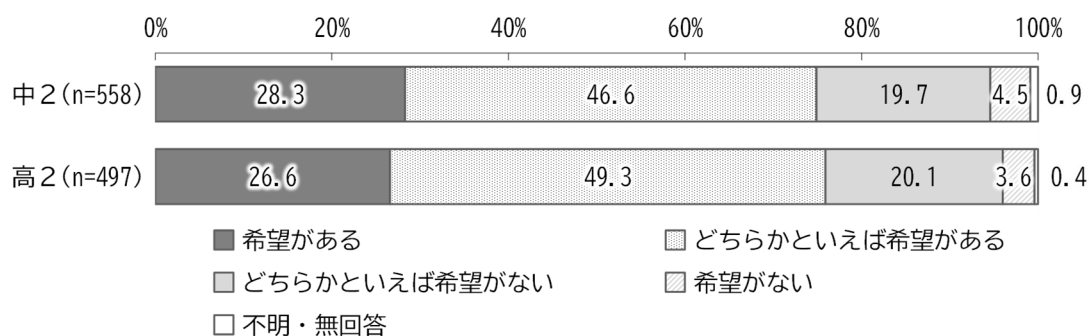
本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『将来に希望がある』 …「希望がある」と「どちらかといえば希望がある」の合算

『将来に希望がない』 …「どちらかといえば希望がない」と「希望がない」の合算

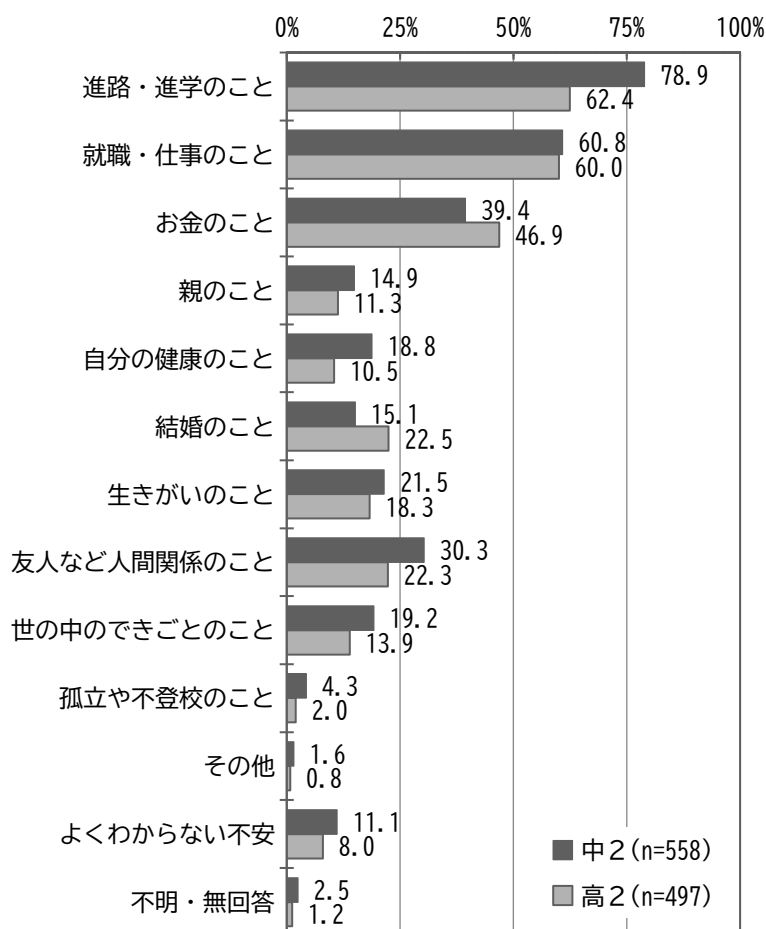
中2では『将来に希望がある』が74.9%、『将来に希望がない』が24.2%となっています。

高2では『将来に希望がある』が75.9%、『将来に希望がない』が23.7%となっています。



問 24 あなたは、将来に対して特にどのようなことに不安を感じますか。〈複数回答〉

中2・高2ともに「進路・進学のこと」が最も高く、それぞれ78.9%、62.4%、次いで「就職・仕事のこと」がそれぞれ60.8%、60.0%となっています。



問1で「2 高等学校2年生」と答えた人

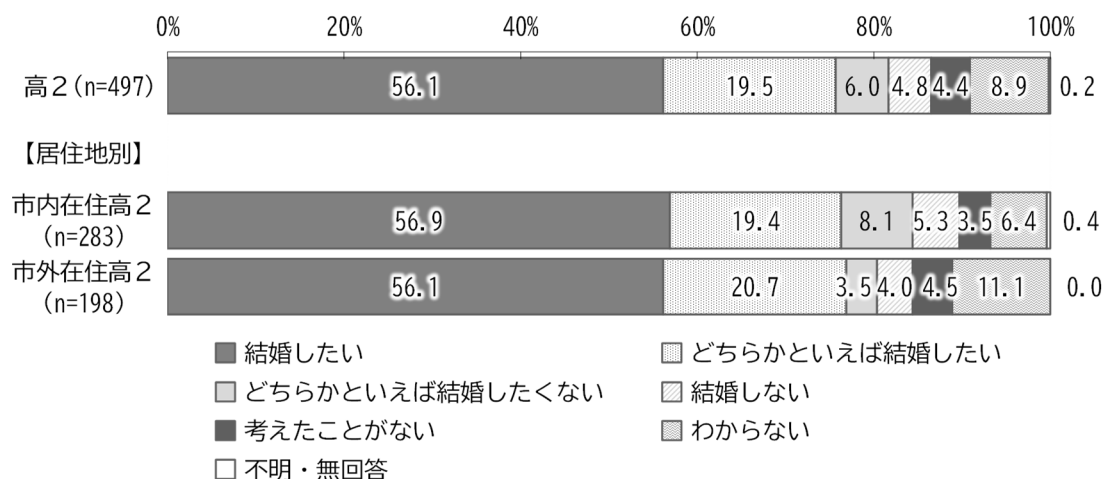
問 25 あなたは将来、結婚したいと思いますか。〈単数回答〉

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『結婚したい』 …「結婚したい」と「どちらかといえば結婚したい」の合算

『結婚したくない』 …「どちらかといえば結婚したくない」と「結婚しない」の合算

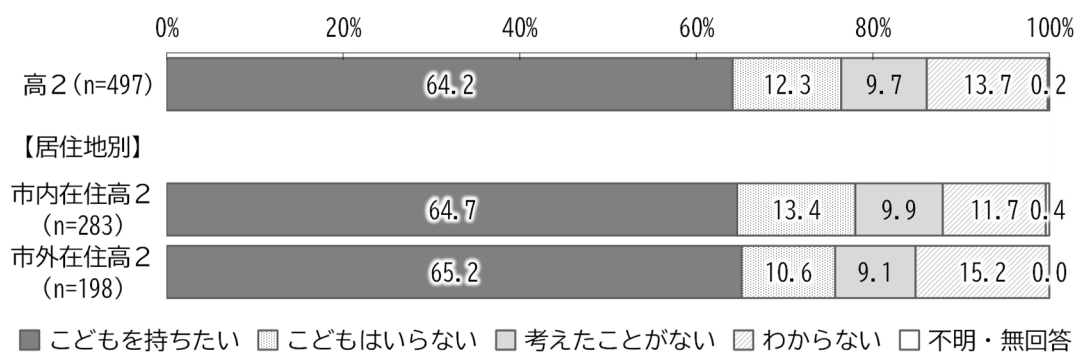
『結婚したい』が75.6%、『結婚したくない』が10.8%となっています。居住地別でみると、『結婚したくない』が市内在住高2で13.4%と、市外在住高2と比べて5.9ポイント高くなっています。



問1で「2 高等学校2年生」と答えた人

問 26 あなたは将来、子どもを持ちたいと思いますか。〈単数回答〉

「子どもを持ちたい」が64.2%と最も高く、次いで「わからない」が13.7%となっています。居住地別でみると、「子どもはほらない」が市内在住高2で13.4%と、市外在住高2と比べてやや高くなっています。



問1で「2 高等学校2年生」と答えた人

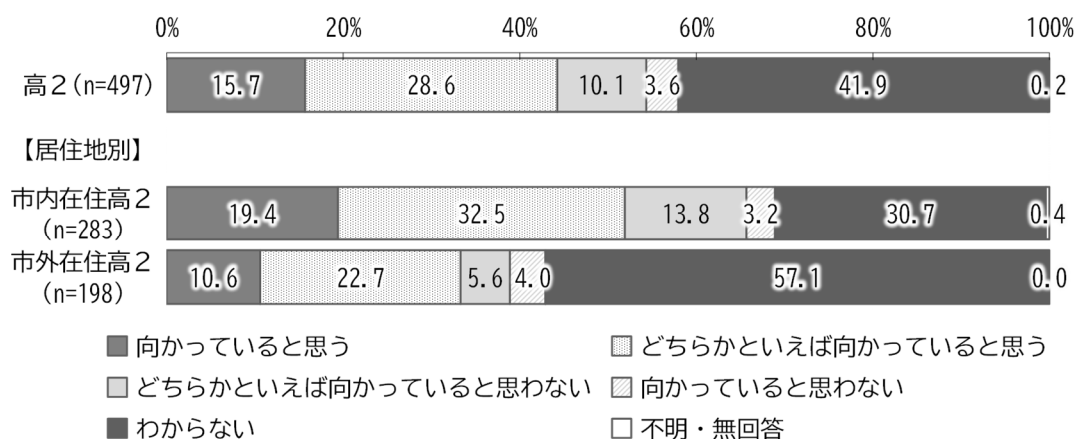
問 27 あなたは、関市において、結婚、妊娠、こども・子育てに温かい社会の実現に向かって
いると思いますか。〈単数回答〉

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『向かっていると思う』 …「向かっていると思う」と「どちらかといえば向かっていると思う」の合算

『向かっていると思わない』 …「どちらかといえば向かっていると思わない」と「向かっていると思わない」の合算

『向かっていると思う』が44.3%、『向かっていると思わない』が13.7%、「わからない」が41.9%
となっています。居住地別でみると、『向かっていると思う』が市内在住高2で51.9%と、市外在住高
2と比べて18.6ポイント高くなっています。



5. こどもの権利について

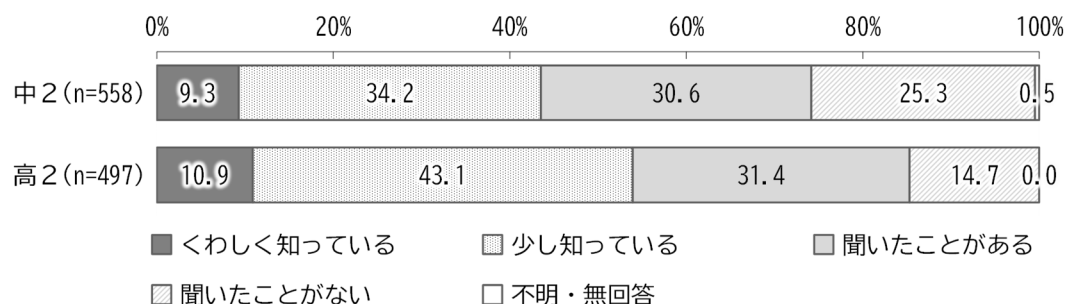
問 28 あなたは、「こどもの権利」について知っていますか。〈単数回答〉

本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『知っている』 …「くわしく知っている」と「少し知っている」の合算

中2では、『知っている』が43.5%、「聞いたことがある」が30.6%、「聞いたことがない」が25.3%
となっています。

高2では、『知っている』が54.0%、「聞いたことがある」が31.4%、「聞いたことがない」が14.7%
となっています。



問 29 あなたは、関市において、こどもの権利が十分に尊重されていると思いますか。

＜単数回答＞

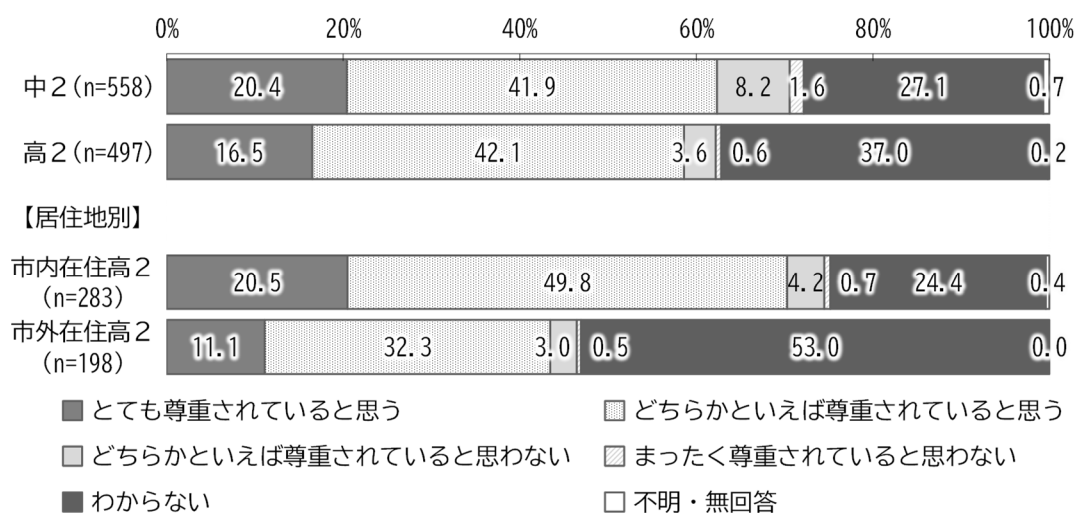
本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『尊重されていると思う』 …『とても尊重されていると思う』と『どちらかといえば尊重されていると思う』の合算

『尊重されていると思わない』…『どちらかといえば尊重されていると思わない』と『まったく尊重されていると思わない』の合算

中2では、『尊重されていると思う』が 62.3%、『尊重されていると思わない』が 9.8%、「わからない」が 27.1%となっています。

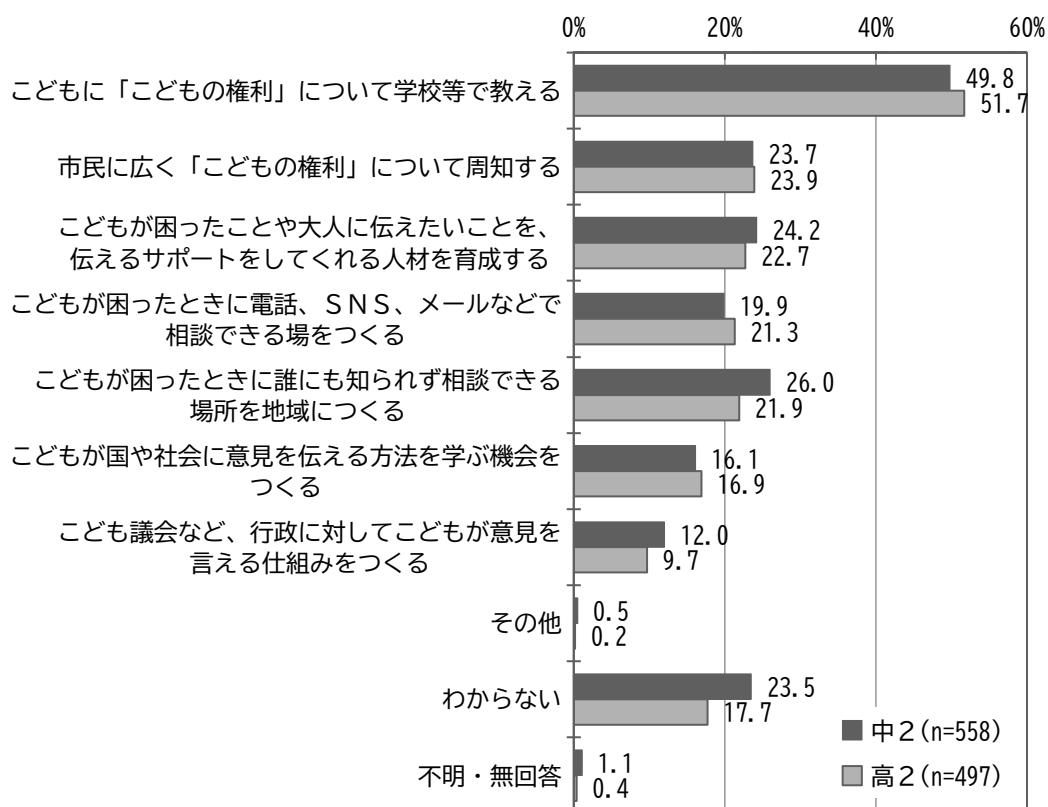
高2では、『尊重されていると思う』が 58.6%、『尊重されていると思わない』が 4.2%、「わからない」が 37.0%となっています。居住地別でみると、『尊重されていると思う』が市内在住高2で 70.3%と、市外在住高2と比べて 26.9 ポイント高くなっています。



問 30 あなたは、「こどもの権利」を守るために、どのような仕組みがあると良いと思いますか。
 <複数回答>

中2では、「こどもに「こどもの権利」について学校等で教える」が 49.8%と最も高く、次いで「こどもが困ったときに誰にも知られず相談できる場所を地域につくる」が 26.0%となっています。

高2では、「こどもに「こどもの権利」について学校等で教える」が 51.7%と最も高く、次いで「市民に広く「こどもの権利」について周知する」が 23.9%となっています。



6. 地域とのかかわりや市の取組について

問 31 あなたは、関市の取組において、子ども・若者の意見を聞いてもらえていると思いますか。
 <単数回答>

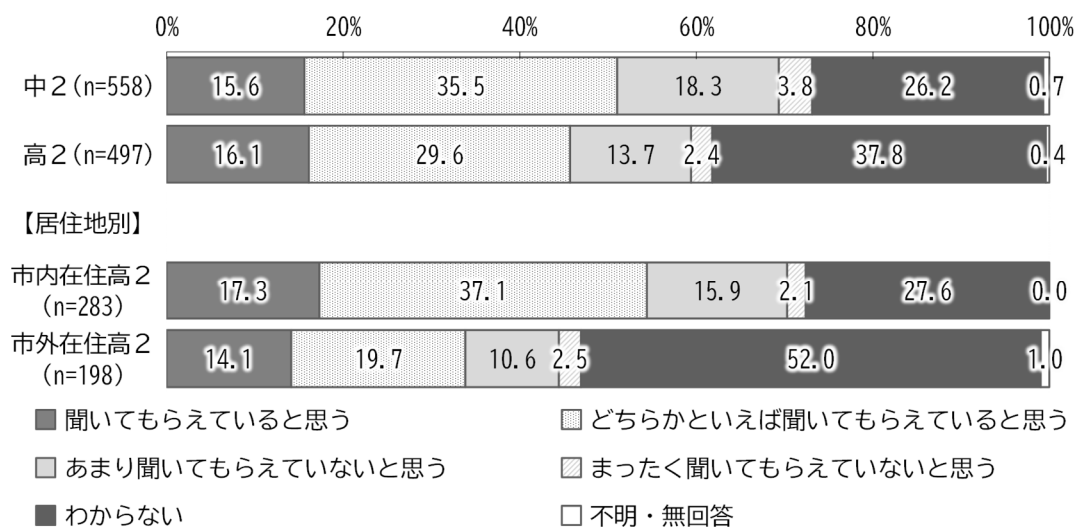
本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『聞いてもらえていると思う』 …『聞いてもらえていると思う』と『どちらかといえば聞いてもらえていると思う』の合算

『聞いてもらえていないと思う』 …『あまり聞いてもらえていないと思う』と『まったく聞いてもらえていないと思う』の合算

中2では、『聞いてもらえていると思う』が51.1%、『聞いてもらえていないと思う』が22.1%、「わからない」が26.2%となっています。

高2では、『聞いてもらえていると思う』が45.7%、『聞いてもらえていないと思う』が16.1%、「わからない」が37.8%となっています。居住地別でみると、『聞いてもらえていると思う』が市内在住高2で54.4%と、市外在住高2と比べて20.6ポイント高くなっています。



問 32 あなたは、関市において、「こどもまんなか社会」の実現に向かっていていると思いますか。

＜単数回答＞

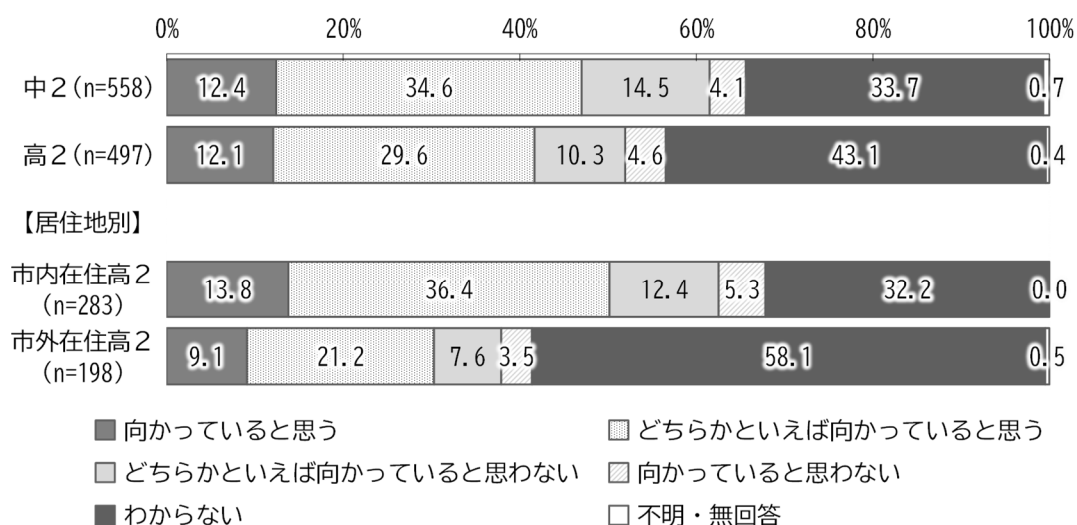
本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『向かっていると思う』 …『向かっていると思う』と『どちらかといえば向かっていると思う』の合算

『向かっていると思わない』 …『どちらかといえば向かっていると思わない』と『向かっていると思わない』の合算

中2では、『向かっていると思う』が 47.0%、『向かっていると思わない』が 18.6%、「わからない」が 33.7%となっています。

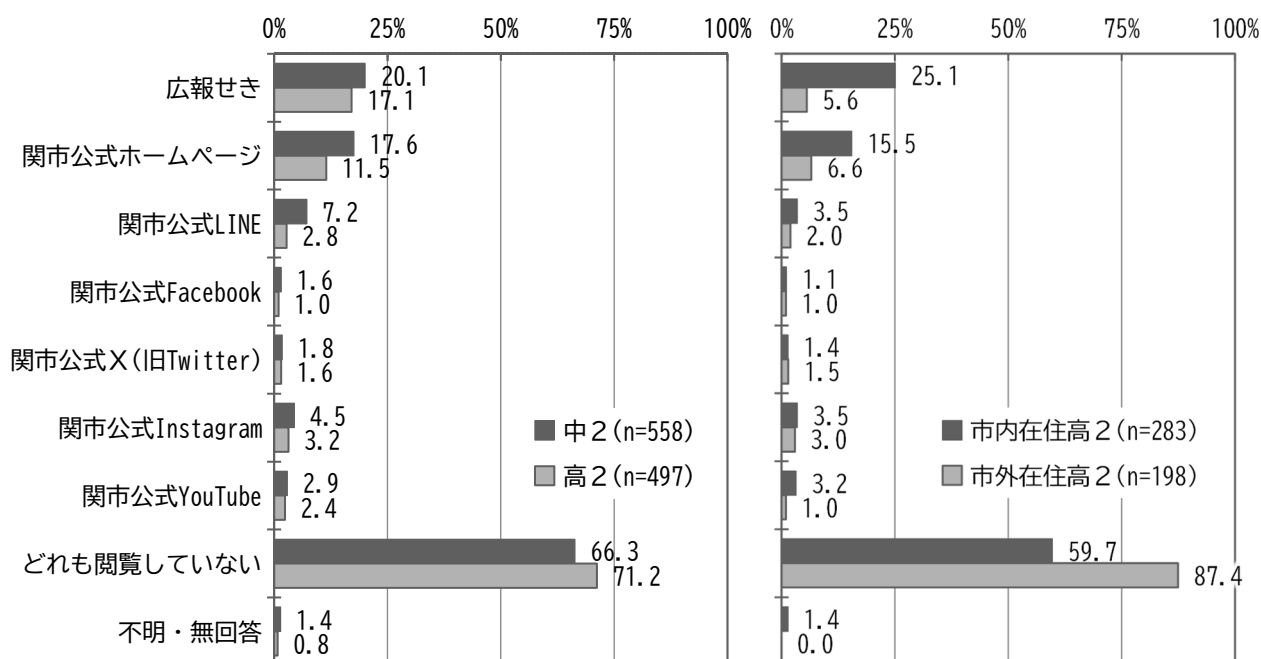
高2では、『向かっていると思う』が 41.7%、『向かっていると思わない』が 14.9%、「わからない」が 43.1%となっています。居住地別でみると、『向かっていると思う』が市内在住高2で 50.2%と、市外在住高2と比べて 19.9 ポイント高くなっています。



問 33 あなたは、最近3か月程度の間、関市から発信される情報を閲覧しましたか。

＜複数回答＞

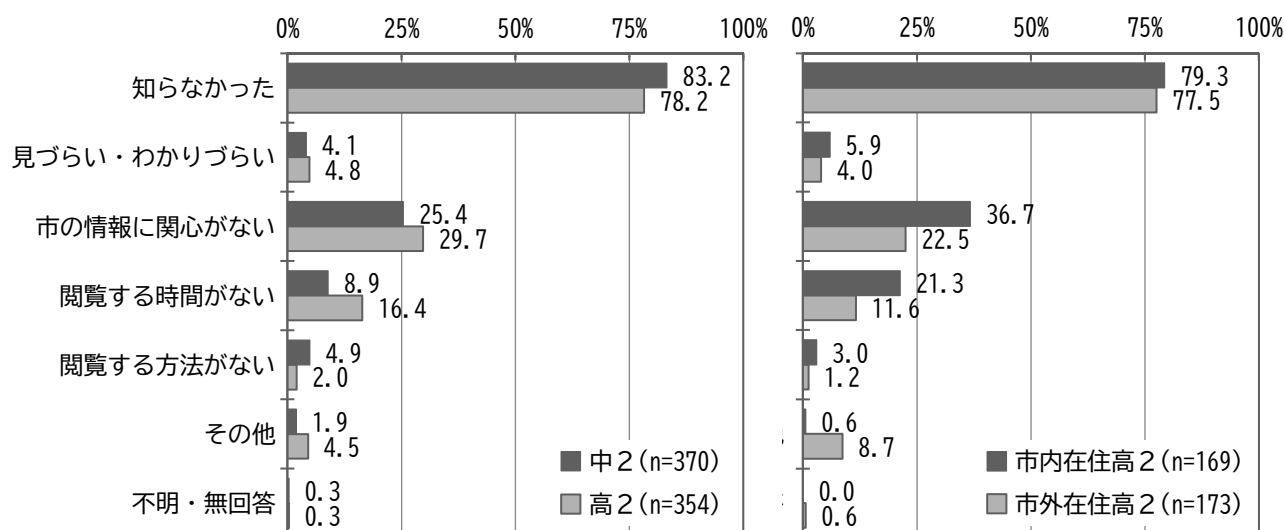
中2・高2ともに「どれも閲覧していない」が最も高く、それぞれ66.3%、71.2%、次いで「広報せき」がそれぞれ20.1%、17.1%となっています。居住地別でみると、最も高い「どれも閲覧していない」（59.7%）を除き、市内在住高2で「広報せき」（25.1%）、「関市公式ホームページ」（15.5%）が上位となっています。



問 33 で「8 どれも閲覧していない」と答えた人

問 34 どれも閲覧していない理由は何ですか。＜複数回答＞

中2・高2ともに「知らなかった」が最も高く、それぞれ83.2%、78.2%、次いで「市の情報に関心がない」がそれぞれ25.4%、29.7%となっています。居住地別でみると、「市の情報に関心がない」が市内在住高2で36.7%と、市外在住高2と比べて14.2ポイント高くなっています。



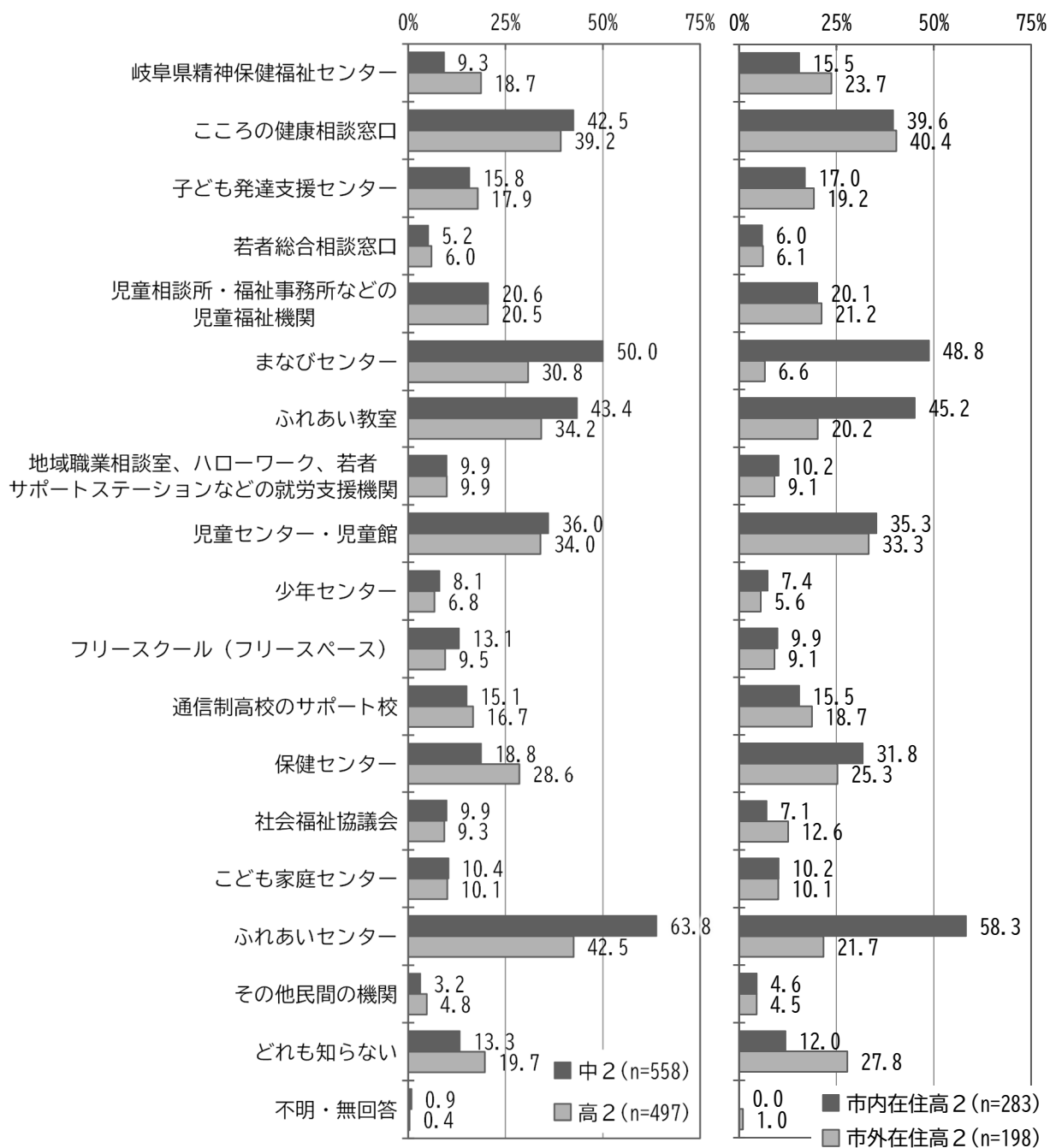
問 35 あなたは、こども・若者を対象とした以下のサービスや機関を知っていますか。

<複数回答>

中2では、「ふれあいセンター」が63.8%と最も高く、次いで「まなびセンター」が50.0%となっています。

高2では、「ふれあいセンター」が42.5%と最も高く、次いで「こころの健康相談窓口」が39.2%となっています。居住地別でみると、市内在住高2で「ふれあいセンター」「まなびセンター」がそれぞれ5割前後と高くなっています。

なお、「どれも知らない」は中2が13.3%、高2が19.7%となっています。

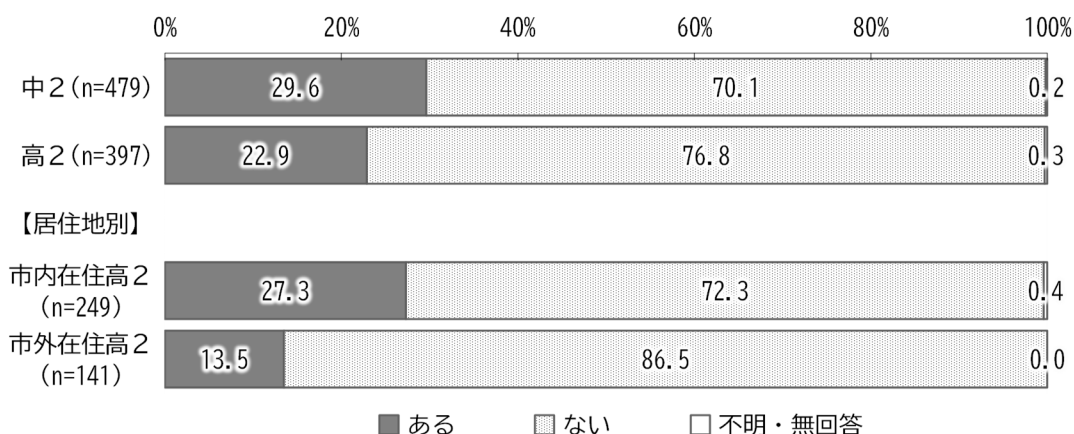


問 35 で「1」～「18」のいずれかを答えた人(いずれかのサービスや機関を知っている人)

問 36 これらの機関を利用したことはありますか。〈単数回答〉

中 2 では、「ある」が 29.6%、「ない」が 70.1%となっています。

高 2 では、「ある」が 22.9%、「ない」が 76.8%となっています。居住地別でみると、「ある」が市内在住高 2 で 27.3%と、市内在住高 2 と比べて 13.8 ポイント高くなっています。



問 37 これらの機関について利用したいと思いますか。〈単数回答〉

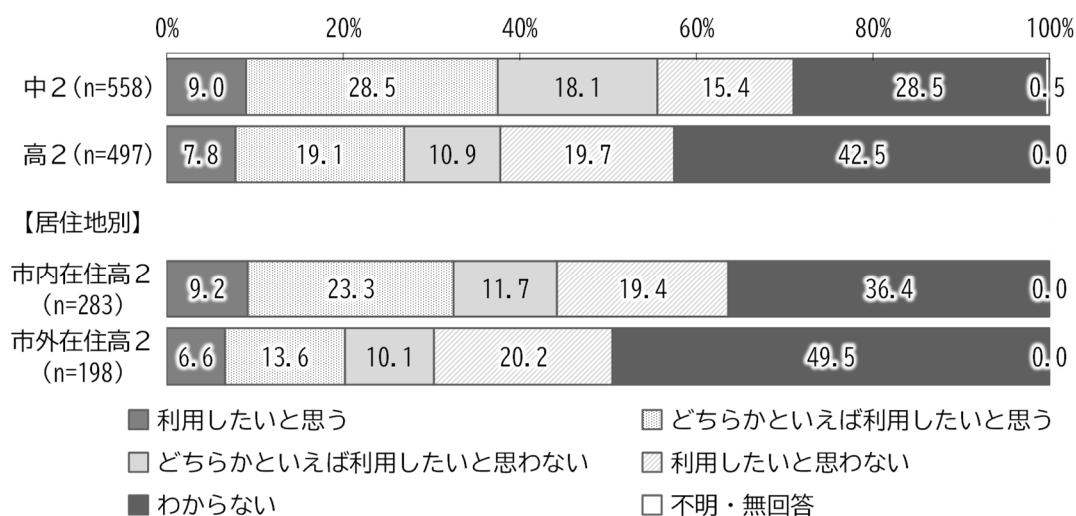
本設問の選択肢にかかる表現は以下のように区分しています。

『利用したいと思う』 …「利用したいと思う」と「どちらかといえば利用したいと思う」の合算

『利用したいと思わない』 …「どちらかといえば利用したいと思わない」と「利用したいと思わない」の合算

中 2 では、『利用したいと思う』が 37.5%、『利用したいと思わない』が 33.5%、「わからない」が 28.5%となっています。

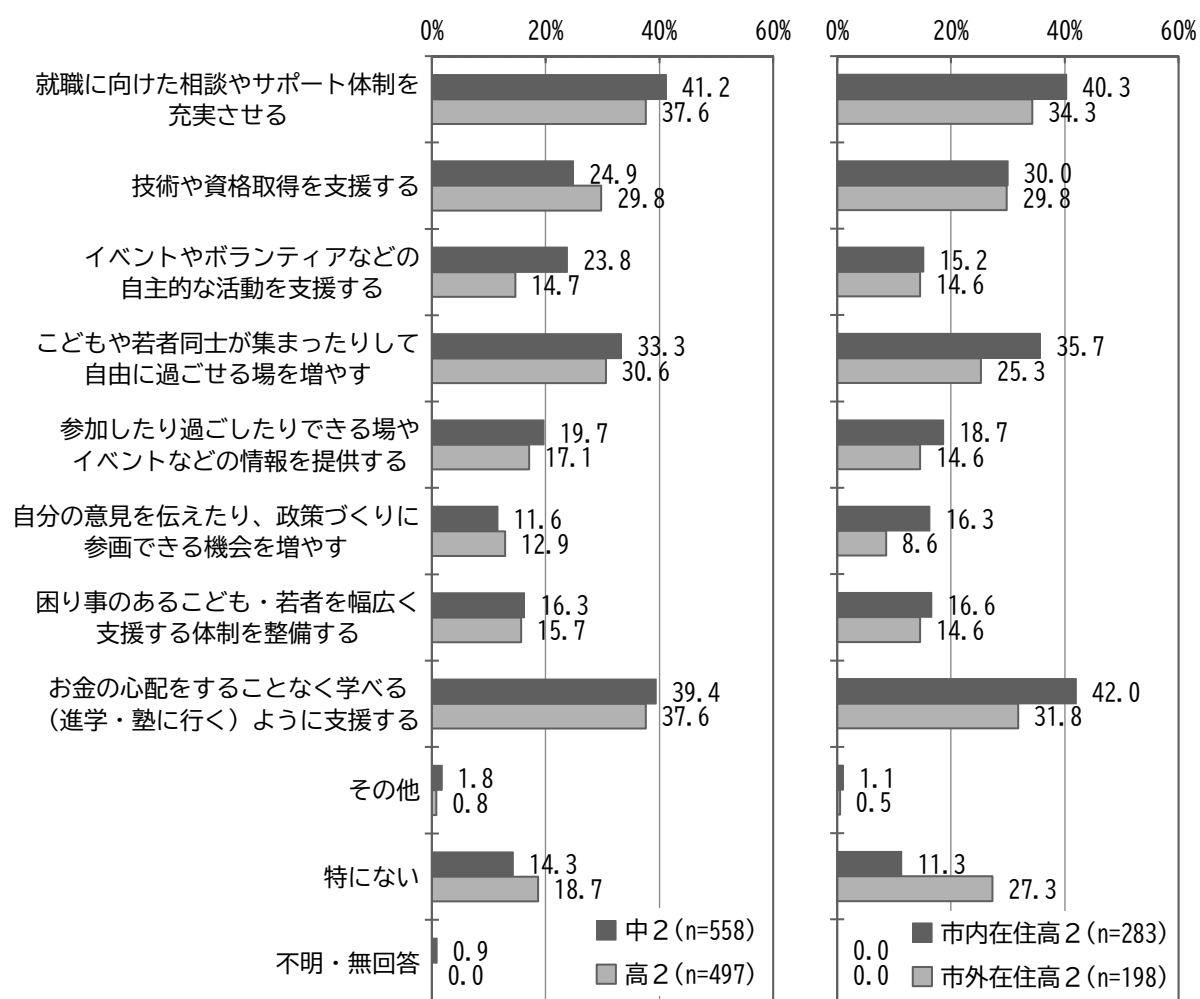
高 2 では、『利用したいと思う』が 26.9%、『利用したいと思わない』が 30.6%、「わからない」が 42.5%となっています。居住地別でみると、『利用したいと思う』が市内在住高 2 で 32.5%と、市外在住高 2 と比べて 12.3 ポイント高くなっています。



問 38 あなたは、若者のためにこれから関市に必要な取組は何だと思いますか。〈複数回答〉

中2では、「就職に向けた相談やサポート体制を充実させる」が 41.2%と最も高く、次いで「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行く）ように支援する」が 39.4%となっています。

高2では、「就職に向けた相談やサポート体制を充実させる」「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行く）ように支援する」がそれぞれ 37.6%と最も高く、次いで「こどもや若者同士が集まったりして自由に過ごせる場を増やす」が 30.6%となっています。居住地別でみると、市内在住高2で「こどもや若者同士が集まったりして自由に過ごせる場を増やす」「お金の心配をすることなく学べる（進学・塾に行く）ように支援する」が、市外在住高2と比べてそれぞれ 10 ポイント以上高くなっています。

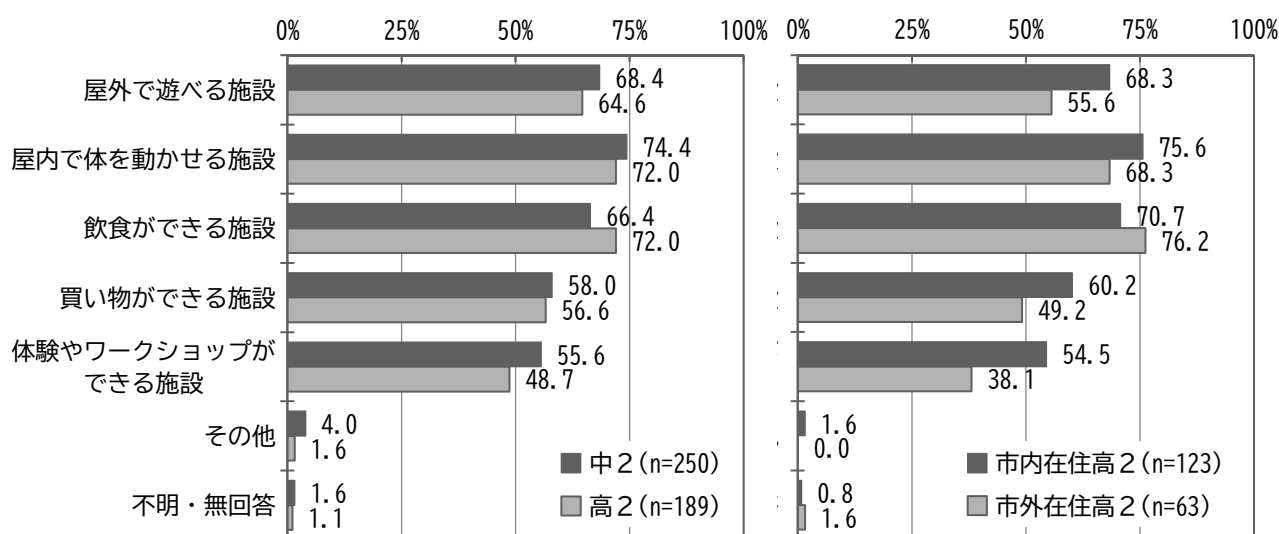


問 38 で「4 こどもや若者同士が集まったりして自由に過ごせる場を増やす」または「5 参加したり過ごしたりできる場やイベントなどの情報を提供する」のいずれかを答えた人

問 39 「こどもや若者同士が集まったりして自由に過ごせる場」や「参加したり過ごしたりできる場やイベント」とは具体的にどのようなものですか。〈複数回答〉

中2では、「屋内で体を動かせる施設」が74.4%と最も高く、次いで「屋外で遊べる施設」が68.4%となっています。

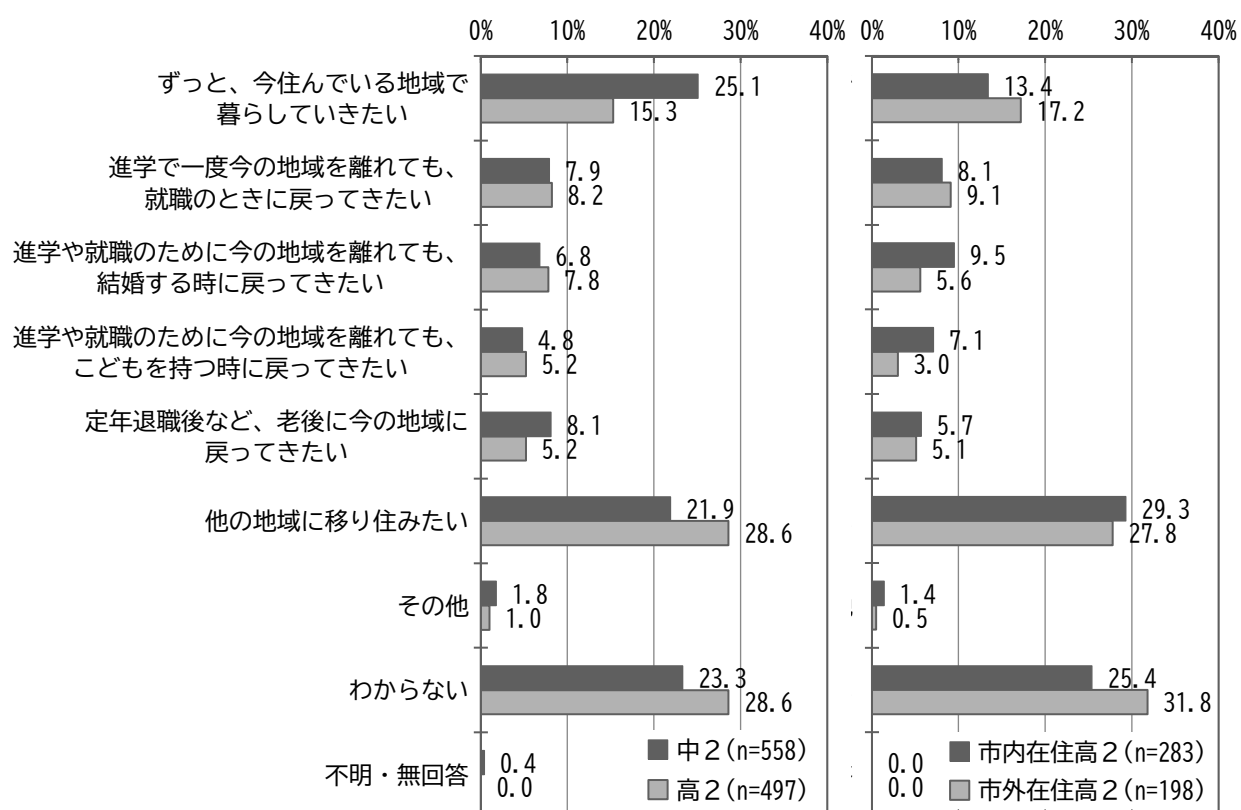
高2では、「屋外で遊べる施設」「飲食ができる施設」がそれぞれ72.0%と最も高く、次いで「屋外で遊べる施設」が64.6%となっています。居住地別でみると、市内在住高2で「体験やワークショップができる施設」「屋外で遊べる施設」「買い物ができる施設」が、市外在住高2と比べてそれぞれ10ポイント以上高くなっています。



問 40 あなたは、将来、定住する場所について、どう考えていますか。〈単数回答〉

中2では、「ずっと、今住んでいる地域で暮らしていきたい」が25.1%と最も高く、次いで「わからない」が23.3%となっています。

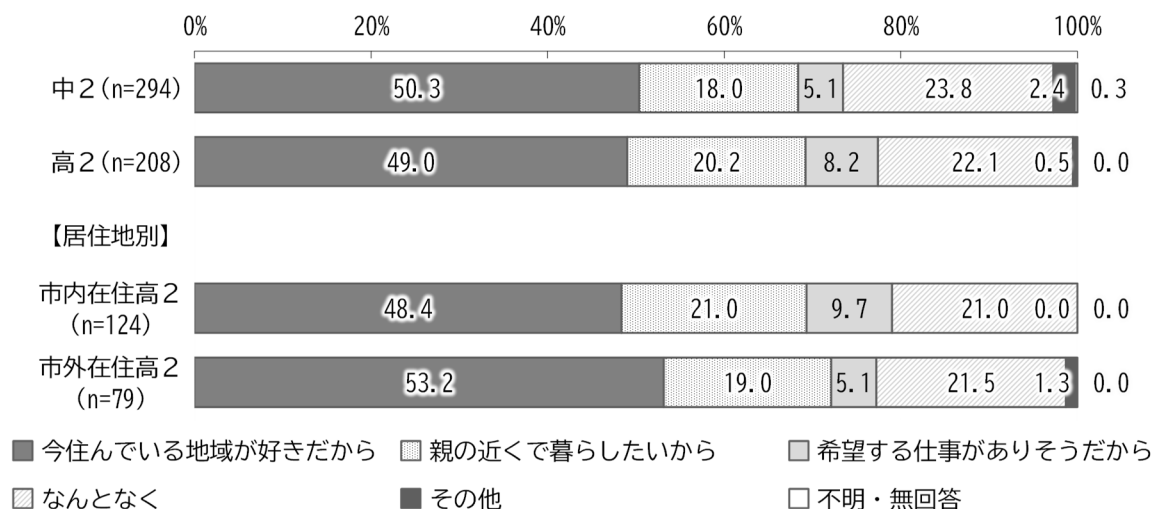
高2では、「他の地域に移り住みたい」「わからない」がそれぞれ28.6%と最も高く、次いで「ずっと、今住んでいる地域で暮らしていきたい」が15.3%となっています。居住地別でみると、市内在住高2で「他の地域に移り住みたい」が29.3%と最も高く、「ずっと、今住んでいる地域で暮らしていきたい」は13.4%にとどまっています。



問 40 で「1」～「5」と答えた人(関市で暮らしたい人)

問 41 なぜそう思いますか。理由として一番近いものは何ですか。〈単数回答〉

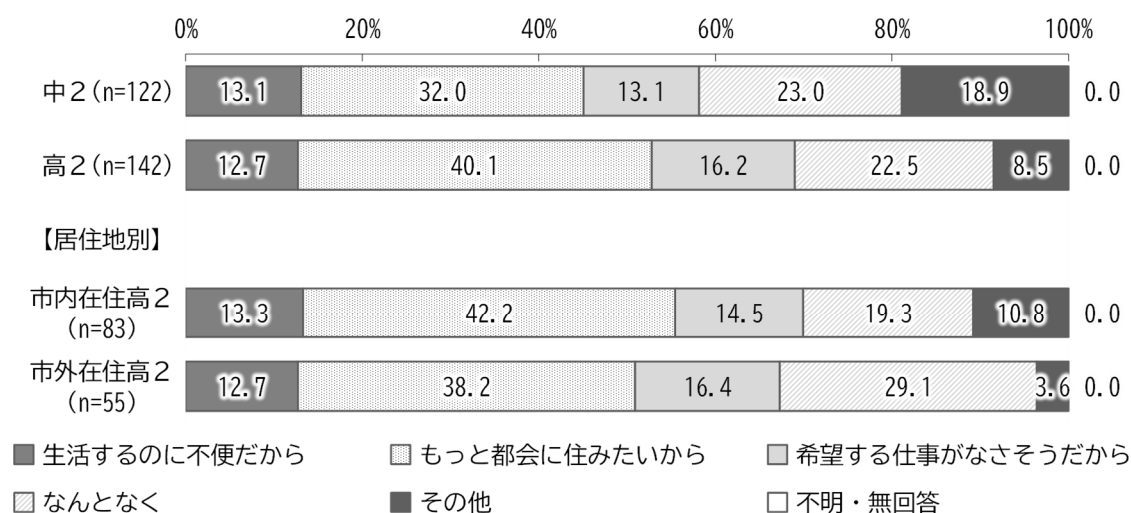
中2・高2ともに「今住んでいる地域が好きだから」が最も高く、それぞれ50.3%、49.0%、次いで「なんとなく」がそれぞれ23.8%、22.1%となっています。居住地別でみると、市内在住高2で「今住んでいる地域が好きだから」が48.4%と最も高くなっています。



問 40 で「6 他の地域に移り住みたい」と答えた人

問 42 なぜそう思いますか。理由として一番近いものは何ですか。〈単数回答〉

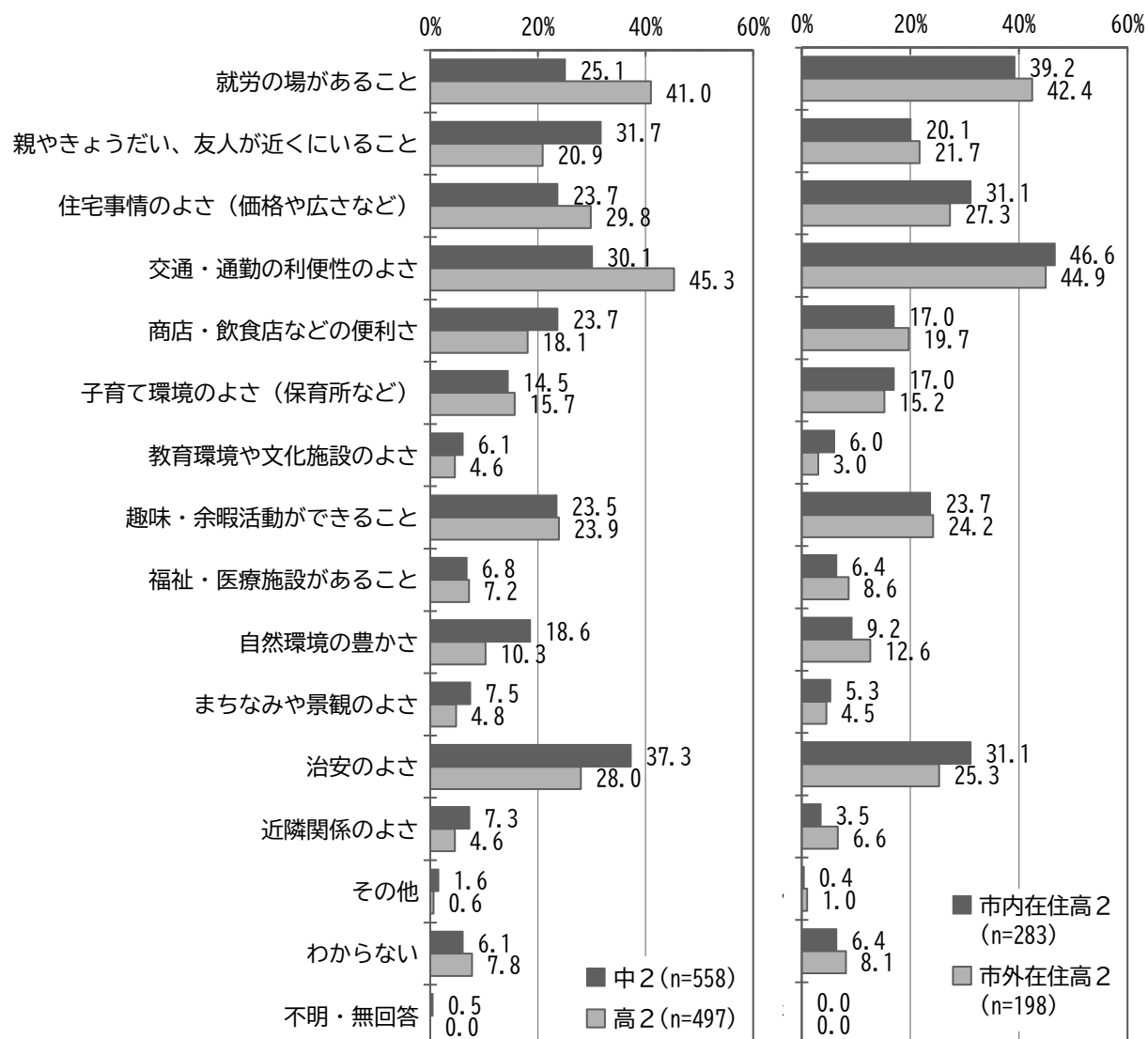
中2・高2ともに「もっと都会に住みたいから」が最も高く、それぞれ32.0%、40.1%、次いで「なんとなく」がそれぞれ23.0%、22.5%となっています。居住地別でみると、市内在住高2で「もっと都会に住みたいから」が42.2%と最も高くなっています。



問 43 将来、定住する場所に求めたいものは次のどれですか。〈複数回答〉

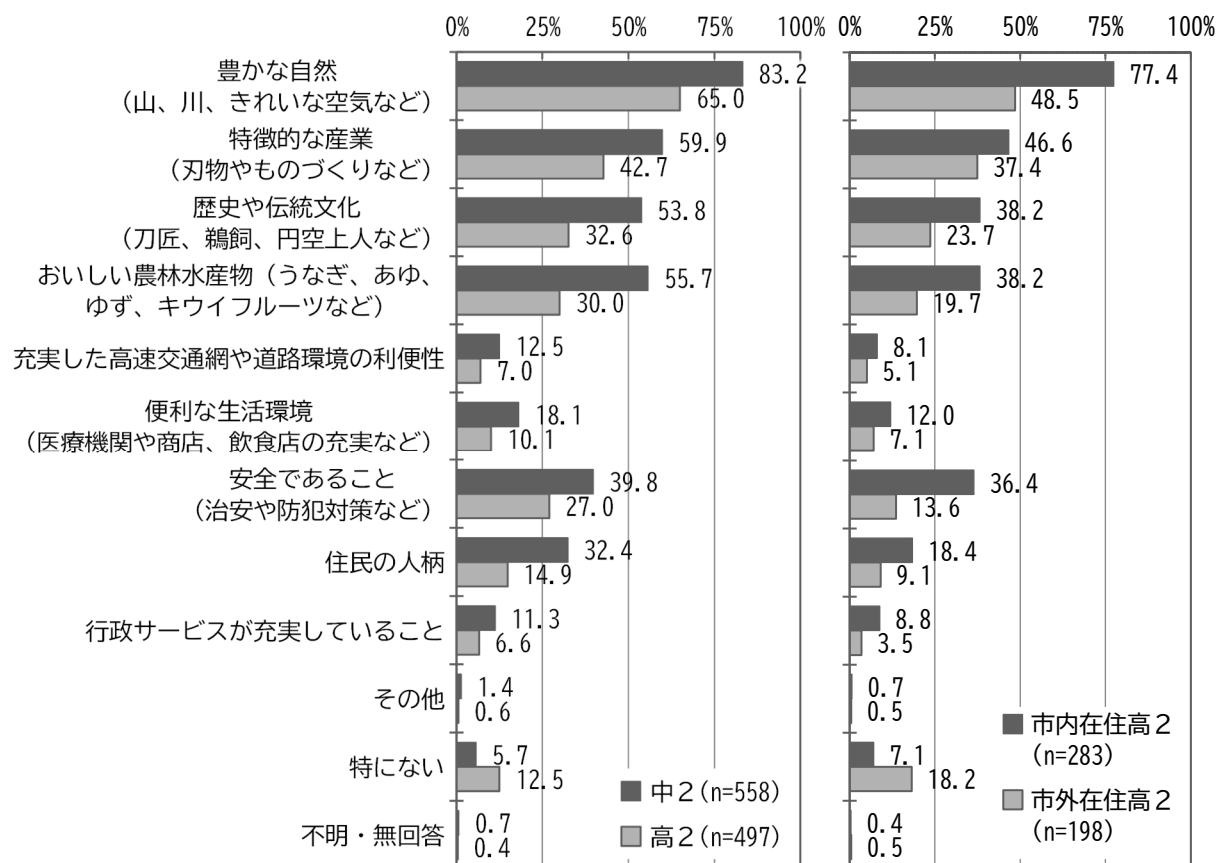
中2では、「治安のよさ」が 37.3%と最も高く、次いで「親やきょうだい、友人が近くにいること」が 31.7%となっています。

高2では、「交通・通勤の利便性のよさ」が 45.3%と最も高く、次いで「就労の場があること」が 41.0%となっています。居住地別でみると、市内在住高2で「交通・通勤の利便性のよさ」が 46.6%と最も高くなっています。



問 44 関市の魅力は何だと思いますか。〈複数回答〉

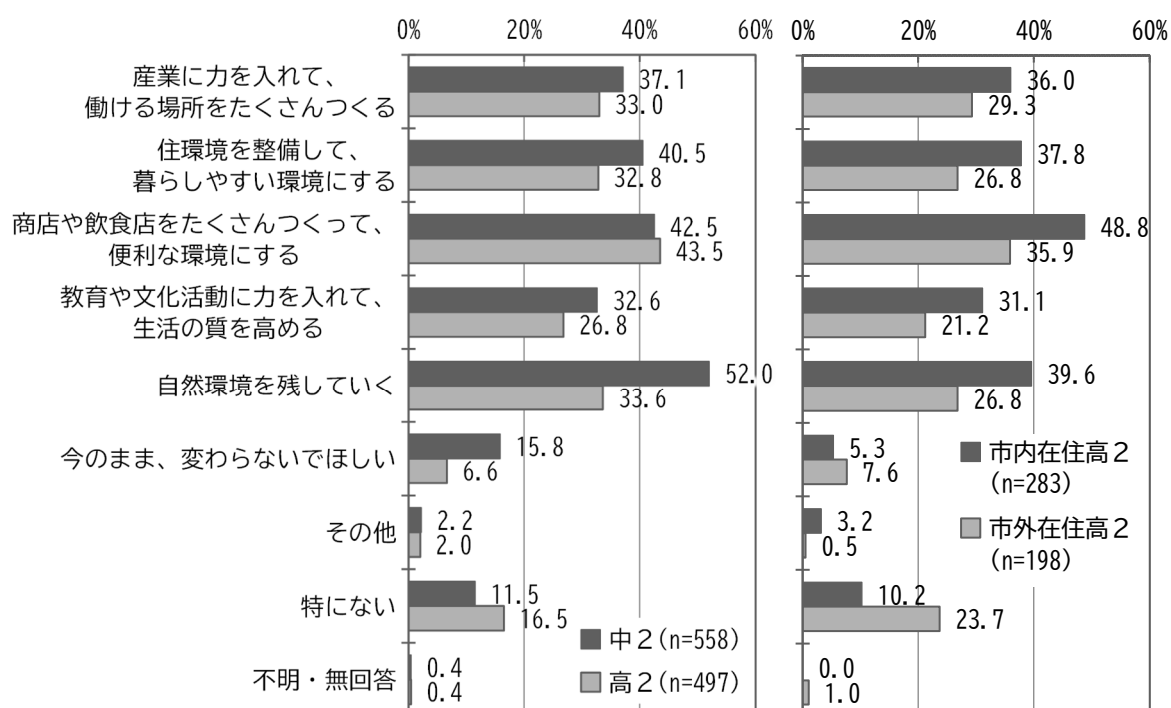
中2・高2ともに「豊かな自然（山、川、きれいな空気など）」が最も高く、それぞれ83.2%、65.0%、次いで「特徴的な産業（刃物やものづくりなど）」がそれぞれ59.9%、42.7%となっています。居住地別でみると、市内在住高2で「豊かな自然（山、川、きれいな空気など）」が77.4%と最も高くなっており、「安全であること（治安や防犯対策など）」とともに市外在住高2と比べてそれぞれ20ポイント以上高くなっています。また、「歴史や伝統文化（刀匠、鵜飼、円空上人など）」「おいしい農林水産物（うなぎ、あゆ、ゆず、キウイフルーツなど）」についても同様にそれぞれ10ポイント以上高くなっています。



問 45 関市が進む方向性として、特に力を入れた方がいいと思うものは次のうちどれですか。
 <複数回答>

中2では、「自然環境を残していく」が52.0%と最も高く、次いで「商店や飲食店をたくさんつくって、便利な環境にする」が42.5%となっています。

高2では、「商店や飲食店をたくさんつくって、便利な環境にする」が43.5%と最も高く、次いで「自然環境を残していく」が33.6%となっています。居住地別でみると、市内在住高2で「商店や飲食店をたくさんつくって、便利な環境にする」が48.8%と最も高く、次いで「自然環境を残していく」が39.6%となっています。なお、「商店や飲食店をたくさんつくって、便利な環境にする」「自然環境を残していく」「住環境を整備して、暮らしやすい環境にする」は、市外在住高2と比べてそれぞれ10ポイント以上高くなっています。



関市 こども・若者の意識と生活に関するアンケート調査
【結果報告書】

発行年月：令和6年8月

発 行：関市

編 集：関市 健康福祉部 子ども家庭課

住 所：〒501-3894 岐阜県関市若草通3丁目1番地

T E L : 0575-23-8965 F A X : 0575-23-7748